

平成25年度

多可町の教育の点検及び評価

報 告 書

平成26年9月

多可町教育委員会

目 次

I. 気持ちよく、安全・安心な学びの場の環境整備

【教育総務では】

- I - 1 教育委員会運営事業
- I - 2 教育委員会事務局事業
- I - 3 学校園施設整備事業
- I - 4 学校給食運営事業
- I - 5 那珂ふれあい館運営事業
- I - 6 埋蔵文化財保護事業
- I - 7 図書館運営事業

II. 夢と感動与える「教師力」の向上

【学校教育では】

- II - 1 教職員研修事業
- II - 2 特別支援教育推進事業
- II - 3 トライやる・ウィーク事業
- II - 4 就園奨励・就学援助事業
- II - 5 国際教育推進事業
- II - 6 環境体験・自然学校事業
- II - 7 教育相談等生活指導関連事業
- II - 8 スクールバス運行事業
- II - 9 理科・音楽教育推進事業
- II - 10 子どもふれあいトーク事業
- II - 11 養護教諭派遣事業
- II - 12 学校規模適正化計画策定事業

III. 学びあい、支えあう「協働」の環境づくり

【児童福祉では】

- III - 1 子育てふれあいセンター事業
- III - 2 保育所運営助成事業
- III - 3 児童館事業
- III - 4 学童保育事業
- III - 5 預かり保育事業
- III - 6 要保護児童対策事業
- III - 7 次世代育成支援対策推進事業
- III - 8 子ども・子育て支援事業計画策定事業

IV. 学びあい、支えあう「協働」の環境づくり

【社会教育では】

- IV - 1 P T C A 事業
- IV - 2 芸能フェスタ事業
- IV - 3 社会教育推進事業
- IV - 4 青少年育成センター事業
- IV - 5 青少年健全育成事業
- IV - 6 中央公民館管理運営事業

【はじめに】

多可町教育委員会は、平成22年度に「多可町教育ビジョン」を策定し、その基本目標に「明日の多可町を担うこころ豊かな人づくり」を、重点目標に「ふるさとを愛し、夢や目標に向かってたくましく生きる、こころ豊かな子どもの育成」、「いつでも、どこでも、だれでも、いきいき学べる、こころ豊かな人づくり」を掲げ、教育の振興のための施策に関する基本的な計画を定め、その計画に沿って事業を展開しています。

平成25年度の重点目標は、幼児教育・学校教育では、①生きる力の基礎を育む幼児教育の充実、②夢や目標を持ち、たくましく生きる子どもの育成、③個々の指導力や組織力の向上に努める教職員の育成、④信頼される学校園づくりの推進、⑤学校園施設・整備の充実、家庭教育・社会教育では、①家庭や地域の教育力の向上、②学童保育や児童館事業等の充実、③教育・文化施設の充実を掲げ、主要な施策を実施しました。

この報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条に定めるところにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民の皆様への説明責任を果たすため、平成25年度に実施した教育委員会の事業について、点検及び評価を実施し、作成しました。

この点検及び評価を今後の教育委員会活動や教育施策に十分に反映させることで、多可町における教育施策が、住民の皆様方の御理解の下に、適切・円滑に推進できますよう、取組の強化を図つてまいりますので、今後ともご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年9月

多可町教育委員会

【教育委員会の点検・評価について】

○点検評価の対象

平成25年度多可町の教育委員会全事業の事務・事業としています。

○点検・評価の方法

多可町総合計画の位置づけと、PDCA（Plan, Do, Check, Action）方式で、各事務・事業を「事務事業評価シート」を5段階評価により自己点検、評価しました。また、点検・評価に客観性を持たせるため、教育に関して学識経験を有する方に講評をいただき、「平成25年度多可町教育委員会事務事業評価票」を作成しました。

評価値

5	目標の達成を大きく上回って達成されている
4	目標以上に達成されている
3	目標は達成されている
2	目標の達成がやや不十分である
1	目標の達成が不十分である

○評価委員

盛田義宣 多可町社会福祉協議会副会長、元小・中学校長

渡辺進 元兵庫教育大学「学生参加による不登校支援活動室」コーディネーター
元小学校長

○点検・評価の構成

1. 項目

教育委員会全事業の33項目を点検、評価しました。

2. 事務事業名等

主な施策、事務事業名を掲げています。

3. 事業内容・実施状況

事務事業評価シートに記載しています。

4. 評価

外部評価委員による意見、講評をいただきました。

○公表

多可町ホームページへ掲載し、町民の皆様への公表とさせていただきます。

平成25年度多可町教育委員会事務事業評価票

こころ豊かで(優しさと思いやり)、かしこい・そして心身ともにたくましい人づくり		
施 策 名	気持ちはよく、安全・安心な学びの場の環境整備	
所 管	教育委員会 教育総務課	備 考
施策目標 (目指すべき 状 態)	<ul style="list-style-type: none"> ・開かれた教育委員会を目指し、委員会の公開には文字放送等で住民に周知する。また、点検・評価の結果を公表していく。教育委員主導の運営を進めるため、委員と事務局の連携を更に密にし、委員会が形骸化しないよう研修会などへの参加を積極的に進める。 ・子どもたちが安全で安心な学校生活を送ることができるよう、学校園施設・設備の整備。 ・学校給食センターが統合され、さらなる安心・安全の給食を提供するため、食材等の品質や栄養バランスを考慮し、児童・生徒の健康と食育を図る。 ・地産地消の取組を進める。 ・地域の歴史学習の拠点として、伝統文化に触れる体験学習を行う。 ・施設の周知を図り、交流施設・生涯学習活動の場として提供する。 ・未利用者に図書館を知ってもらい利用してもらうような事業を進める。 	(教育委員会) (学校園施設) (給食センター) (那珂ふれあい館) (図書館)
施策を取り巻く環境	<ul style="list-style-type: none"> ・住民からは開かれた教育委員会が望まれる。 ・H24年度末で耐震化率93. 9%となる。 ・山崎断層の存在がはっきりしているなか、災害時に避難場所となる学校園について、安心・安全のハードを早急に整備する必要がある。 ・給食の食材使用率について、多可町産野菜の使用は6. 9%とかなり少なめである。 ・給食センターが統合され、なお一層安全・安心な給食の提供が必要である。 ・合併前からの旧3町分の民俗資料・遺物等の一括保管施設の確保が懸案事項であり、保存しているすべての大切な文化財については、今後も館を維持管理活用しながら将来まで守っていかなければならない。 	(教育委員会) (学校園施設) (給食センター) (那珂ふれあい館)
施策の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・開かれた教育委員会を目標とし、評価委員会を開催し、H24年度の点検・評価にかかる報告書を作成した。 ・杉原谷小学校屋内運動場の地震補強・大規模改造工事が完了し、H24年度の93. 9%からH25年度で耐震化率97. 0%まで増加した。 ・多可町学校給食センターが業務を開始し、自前の炊飯システムを含め、衛生管理基準に基づいた安心・安全な給食を提供できた。 ・歴史学習の拠点としての機能をいかした、歴史と伝統文化に基づいた体験学習メニューを提供できた。 ・開館十周年を迎記念行事を行い図書館利用のPRとなった。 	(教育委員会) (学校園施設) (給食センター) (那珂ふれあい館) (図書館)
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会を公開しているが、傍聴者が少ない。学校訪問等の行事について、教育委員の効率的な参加方法を検討する。 ・町内小中学校の屋内運動場の天井等落下防止対策工事について、国が促すH27年度末までに工事を完了する必要がある。 ・安全・安心な学校給食の提供に向けて、今以上に衛生管理を徹底し、食物アレルギー対策や食中毒、感染症を防止して、安定的な給食を提供する。また、施設内事故ゼロに努める。 ・子どものみでなく、大人が参加できるメニューや新たなイベントの実施。 ・文化財啓発事業の充実(館内文化財展示の展示替え等)。 ・図書館サービス改善のための施設整備やかみ・やちよの分室のより一層の蔵書の充実が必要。その他の施設との複合化も含め利用しやすい図書館の検討。 	(教育委員会) (学校園施設) (給食センター) (那珂ふれあい館) (図書館)
講評	I - 1 問題があれば傍聴者も増えると思うので、傍聴者がないということは安心して、信頼してもらっているということでもあると思う。今後、教育委員会はいろいろなことで変化していくのでその対応をきちんとお願ひしたい。 I - 2 幼稚園保育料の収納率100%はすごいことである。土地柄、人柄もあると思うが、収納率はとてもよい。 I - 3 小中学校に太陽光パネルの設置はどうか。学校統合などもあるので重点的に継続されたい。 I - 4 楽しい職場でよい雰囲気で調理することはとても大事である。チームワークよく、心にゆとりのある調理をお願いしたい。 I - 5 昭和の典型的な古民家を移築・保存し、昭和の暮らしを体験できるのはどうか。古代史だけでなく現代史も同じ場所で学べれば便利である。何とか残していくほしい施設である。 I - 6 現状のまま継続されたい。 I - 7 夜は10時まで利用でき、休館日もない分室をより充実してほしい。今、検討中の庁舎に生涯学習センター・図書館を含めて建てると、いろいろなことを一つの場所で行えるので利用者も増えると思う。	

平成25年度多可町教育委員会事務事業評価票

施策を構成する事務事業の状況

事務事業名	評価委員意見	担当課・所管
I - 1 教育委員会運営事業	妥当である	教育総務課
I - 2 教育委員会事務局事業	妥当である	教育総務課
I - 3 学校園施設整備事業	妥当である	教育総務課
I - 4 学校給食運営事業	妥当である	給食センター
I - 5 那珂ふれあい館運営事業	妥当である	那珂ふれあい館
I - 6 埋蔵文化財保護事業	妥当である	那珂ふれあい館
I - 7 図書館運営事業	妥当である	図書館

(注)評価委員の意見は教育委員会の自己評価に対する意見である。

多可町教育委員会事務事業評価シート(平成25年度)

(A面)

1 事務事業の概要

				担当課				
				教育総務課				
事務事業名		新規・継続		事業開始年度				
教育委員会運営事業		<input type="radio"/> 新規		年度				
		<input type="radio"/> 継続		<input type="radio"/> H20以前				
事務事業の体系								
計画 掲載	多可町総合計画	○政策	笑顔でつつむ、あつたかいまち					
		□施策	のびのび育とう、育てよう					
個別計画								
根拠法令・条例・要綱等								
地方教育行政の組織及び運営に関する法律 多可町教育委員会事務局組織規則、多可町教育委員会事務局委任規則								
事務事業の具体的内容								
教育委員会の開催、教育委員会の点検及び評価、教育委員の研修						委託	全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> <input type="radio"/> 委託なし(全部直営)	

2 事務事業の目的

対象(働きかける相手・誰が・もの)	どのような手段で	意図(どういう状態にしたいのか)
教育委員	園児、児童、生徒及び住民等	こころ豊かで、かしこい・そして心身ともにたくましい人づくり

3 取組の状況

事務事業を構成する業務	活動内容	活動指標(単位)	24年度	25年度	26年度目標	自己評価(達成度)
1 教育委員会活動	定例教育委員会等の開催と審議会等参加	開催回数・参加回数(回)	45	45	45	3
2 教育行政評価	評価委員会の開催と評価	開催回数(回)	2	2	2	3
3 告辞行為	学校園公式行事の告辞	学校園数(回)	26	26	26	3
4						
5						

(取組内容)

教育委員会の傍聴については、たかTVで周知した。

教育委員は、各種審議会に積極的に参加。

4 主な取組の成果

教育委員は、各種審議委員会等に出席し、子どもを中心に置いた教育的な考えを強調された。

5 今後の課題

教育委員会を公開しているが、傍聴者が少ない。

学校訪問等の行事について、教育委員の効率的な参加方法を検討する。

事務事業評価書

担当課長評価

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、また、事務局規則等に則り業務を遂行している。教育の機会均等、教育水準の維持向上及び地域の実情に応じた教育の振興のため、情報の共有と説明責任を果たしながら、教育委員会審議に諮り迅速適確な対応を推進している。

所管評価	<input type="radio"/>	1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続		3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

1次評価(教育長評価)

教育の中立性、継続性、安定性を確保しながら、教育委員会制度の改革に取り組む。責任の所在を明確にし、迅速に判断し対応していきたい。

1次評価	<input type="radio"/>	1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続		3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

2次評価(評価委員評価)

教育委員会は公開が原則であるので公開をしないといけないが、統合などの問題があっても傍聴者はない状況である。

逆に、問題があれば傍聴者も増えると思うので、傍聴者がないということは安心して信頼してもらっているということもあると思う。

今、国の動きの中で教育委員会のあり方が問いかけられている。教育委員会というものが一般的のものはとても分かりにくい。教育委員会というのが何を指すのか分からぬ。教育長と教育委員長の区別がつくのは教育関係者しかいないと思う。

今後、教育委員会もいろいろなことで変化していくのでその対応をきちんとお願いしたい。

2次評価	<input type="radio"/>	1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続		3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

多可町教育委員会事務事業評価シート(平成25年度)

(A面)

1 事務事業の概要

			担当課 教育総務課		
事務事業名			新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
教育委員会事務局事業			<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続	年度 <input type="checkbox"/> H20以前 <input type="checkbox"/>	年度 <input type="checkbox"/> 未定
事務事業の体系					
計画 掲載	多可町総合計画	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 施策	のびのびと育とう、育てよう		
	個別計画				
根拠法令・条例・要綱等					
地方教育行政の組織及び運営に関する法律					
事務事業の具体的な内容					
教育委員会組織事務、教育の政治的中立性及び教育行政の安定性確保、一般行政と教育行政の調和、国・県・他市町との連携等を実施する事務執行及び学校・児童・生徒に関する事務事業、保育料の収納、等			<input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 委託なし(全部直営)	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託	

2 事務事業の目的

対象(働きかける相手・誰が・もの)	どのような手段で	意図(どういう状態にしたいのか)
事務局職員、学校施設、社会教育施設、社会体育施設、学校給食センター等	園児、児童、生徒及び住民等	こころ豊かで、かしこい・そして心身ともにたくましい人づくり

3 取組の状況

事務事業を構成する業務	活動内容	活動指標(単位)	24年度	25年度	26年度目標	自己評価(達成度)
1 保育園の保育料徴収業務	請求明細書作成等	件数(件)	5250	5474	5300	3
2 保育所保育料収納率	現年度分	%	99.02	99.42	99	3
3 幼稚園の保育料徴収業務	請求明細書作成等	件数(件)	1800	1700	1700	3
4 幼稚園保育料収納率	現年度分	%	100	100	100	3
5 後援名義使用許可	申請に対して承認	件数(件)	62	68	65	3
6 教育行政事務	事務事業評価報告書作成	事務事業評価公表(回)	1	1	1	3
7 学校施設使用許可	学校施設の開放に関する許可事務	件数(件)	74	71	70	3
(取組内容)						

4 主な取組の成果

効率的で的確な事務処理をするよう努めている。幼稚園保育料の現年度分収納率は100%で、保育園保育料も収納率は上がっている。

5 今後の課題

保育料では滞納分の徴収が課題であり、児童手当からの振替や電話・訪問等を行っている。使用許可事務では的確な事務処理を行い、学校園との連携が必要である。

事務事業評価書

担当課長評価

業務の内容については、多岐に渡るため課の事務分掌により業務を分担し遂行している。更なる業務の精査を行いながら、職員の減少に対応すべく事務の合理化並びに改革をより推進する必要がある。

所管評価		1. 重点的に継続	<input checked="" type="radio"/>	2. 現状のまま継続		3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

1次評価(教育長評価)

徴収業務については、学校園と連携しながら滞納が出ないように努力を続けていく。事務事業評価については、評価項目や評価シートの内容等の見直しを図っていく必要がある。

1次評価		1. 重点的に継続	<input checked="" type="radio"/>	2. 現状のまま継続		3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

2次評価(評価委員評価)

幼稚園保育料収納率100%はすごいことである。土地柄、人柄もあると思うが、収納率はとてもよい。

2次評価		1. 重点的に継続	<input checked="" type="radio"/>	2. 現状のまま継続		3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

多可町教育委員会事務事業評価シート(平成25年度)

(A面)

				担当課	
				教育総務課	
1 事務事業の概要					
事務事業名				新規・継続	事業開始年度
学校園施設整備事業				新規 <input type="radio"/> 継続 <input type="radio"/>	年度 H20以前 <input type="radio"/> 未定
事務事業の体系					
計画 掲載	多可町総合計画 個別計画	<input type="radio"/> 政策	のびのび育とう、育てよう		
		<input type="checkbox"/> 施策	確かな学力		
根拠法令・条例・要綱等				文部科学省 学校施設整備指針 学校施設環境改善交付金	
事務事業の具体的な内容				学校園施設整備計画により、地震に対する施設の安全性を確保するため補強工事を行う。施設老朽化の改善と機能向上さらに施設を利用する全ての者が安全かつ安心して活動できるよう大規模改造、改修工事を行う。	
				委託	全部委託 <input type="radio"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託なし(全部直営)

2 事務事業の目的		
対象 (働きかける相手・誰が・もの)	どのような手段で	意図 (どういう状態にしたいのか)
町内学校園の全施設	園児・児童・生徒・教職員	安全で快適な施設の整備

3 取組の状況											
事務事業を構成する業務		活動内容	活動指標(単位)	24年度	25年度	26年度目標	自己評価(達成度)				
1	小学校施設整備	耐震補強及び大規模改修工事、一般改修工事	工事・委託業務 発注件数	1	2	3	3				
2	中学校施設整備	一般改修工事	工事・委託業務 発注件数	0	4	1	3				
3	幼稚園施設整備	一般改修工事	工事・委託業務 発注件数	1	1	1	3				
4	社会教育施設整備 ほか	一般改修工事	工事・委託業務 発注件数	2	6	0	3				
5	耐震化率の向上		%	93.9	97.0	97.0					
(取組内容) <table border="0"> <tr> <td>【小学校施設】 ・杉小 屋体補強・大改 ・屋体 天井等落下防止総点検</td> <td>【中学校施設】 ・中町中 屋上防水漏水補修 ・中町中 インターホン設置 ・中町中 給食配食室新築設計 ・屋体 天井等落下防止総点検</td> <td>【幼稚園施設】 ・キッズラントやちよ屋根改修 【学童施設】 ・中南・中北学童 施設改修 ・杉っ子会館 外壁改修</td> <td>【社会教育施設ほか】 ・青年の家改修 ・加美運動公園改修(ベンチほか) ・加美運動公園改修(外野芝生)</td> </tr> </table>								【小学校施設】 ・杉小 屋体補強・大改 ・屋体 天井等落下防止総点検	【中学校施設】 ・中町中 屋上防水漏水補修 ・中町中 インターホン設置 ・中町中 給食配食室新築設計 ・屋体 天井等落下防止総点検	【幼稚園施設】 ・キッズラントやちよ屋根改修 【学童施設】 ・中南・中北学童 施設改修 ・杉っ子会館 外壁改修	【社会教育施設ほか】 ・青年の家改修 ・加美運動公園改修(ベンチほか) ・加美運動公園改修(外野芝生)
【小学校施設】 ・杉小 屋体補強・大改 ・屋体 天井等落下防止総点検	【中学校施設】 ・中町中 屋上防水漏水補修 ・中町中 インターホン設置 ・中町中 給食配食室新築設計 ・屋体 天井等落下防止総点検	【幼稚園施設】 ・キッズラントやちよ屋根改修 【学童施設】 ・中南・中北学童 施設改修 ・杉っ子会館 外壁改修	【社会教育施設ほか】 ・青年の家改修 ・加美運動公園改修(ベンチほか) ・加美運動公園改修(外野芝生)								

4 主な取組の成果			
杉原谷小学校 屋内運動場 地震補強・大規模改修工事 完了 H25年度をもって、八千代北小学校 屋内運動場を除くすべての学校園施設の耐震化が完了 ※八北小 屋体は、学校統合により未実施			

5 今後の課題			
町内小中学校の屋内運動場の天井等落下防止対策工事について、国が促すH27年末までに工事を完了させなければならない。 今後予測される、中区・加美区における小学校統合、全町レベルでの中学校統合に関する施設の改修計画の検討が必要。			

事務事業評価書

担当課長評価

各学校施設においては、平成25年度までに耐震化並びに大規模改造工事、屋内運動場天井落下防止にかかる総点検を実施し、計画的に業務を遂行している。

今後は、予想される小学校統合準備計画並びに特定天井の対策、ゆとり授業の脱却と確かな学力の向上に資する施設整備に関する空調設備(天井扇等)の導入等、財政担当部局と調整を図りながら、合理的かつ効果的な整備推進が迫られており、その具体的な計画と実施が必要となる。

所管評価	<input type="radio"/>	1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続		3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

1次評価(教育長評価)

学校統合も視野に入れ長期的な視野に立ち、計画的に実施することが必要である。

1次評価	<input type="radio"/>	1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続		3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

2次評価(評価委員評価)

公共施設や小中学校に太陽光パネルの設置はどうか。電気代も安くなり、自然や環境にもやさしくなると思う。

学校統合などもあるので重点的に継続されたい。

2次評価	<input type="radio"/>	1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続		3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

多可町教育委員会事務事業評価シート(平成25年度)

(A面)

1 事務事業の概要

事務事業名			新規・継続	事業開始年度	完了予定年度	担当課 教育総務課					
学校給食運営事業			新規 <input type="radio"/>	年度 <input type="radio"/> H20以前	年度 <input type="radio"/> 未定						
事務事業の体系											
計画 掲載	多可町総合計画		○政策 <input type="radio"/>	安全を守る 食を通した教育の充実により「食」の安全確保を促進する							
	個別計画		□施策 <input type="checkbox"/>								
根拠法令・条例・要綱等											
学校給食法・多可町学校給食センター条例・施行規則 多可町学校給食運営委員会要綱・給食費負担金徴収条例											
事務事業の具体的内容											
園児、児童生徒に安全・安心な食の提供を行う。 学校給食の献立作成、給食用物資の購入並びに検収及び管理。 給食調理、配達、その他運営に必要な業務				委 託	全部委託 <input type="radio"/>	一部委託 <input type="checkbox"/>					
					委託なし(全部直営)						

2 事務事業の目的

対象(働きかける相手・誰が・もの)	どのような手段で	意図(どういう状態にしたいのか)
児童・生徒・教職員等	学校給食運営委員会を開催し、安心・安全な給食を提供することで	食材等の品質や栄養バランスを考慮した給食を提供し、児童・生徒の健康と食育を図る

3 取組の状況

(25年度実績は中給食センターのところに記入してください。

事務事業を構成する業務	活動内容	活動指標(単位)	24年度	25年度	26年度目標	自己評価(達成度)
1 給食調理提供業務【中給食センター】	給食提供食数	食	220,635	424,254	432,496	5
2 【加美給食センター】	給食提供食数	食	117,999	-		
3 【八千代給食センター】	給食提供食数	食	104,846			
4 学校給食運営委員会【中給食センター】	多可町学校給食運営委員会開催回数	回	2	1	2	3
5 【加美給食センター】	多可町学校給食運営委員会開催回数	回	2			
6 【八千代給食センター】	多可町学校給食運営委員会開催回数	回	2			
7 多可町産野菜等の使用率	地産地消	%	6.92	8.05	10	3

(具体的取組内容)

平成25年4月から旧3区の学校給食センターを統合し、多可町学校給食センターとして運営がスタートした。一日約2,400食の給食を提供することになったが、稼働し始めた直後であり、不慣れな調理機器の操作や調整などに時間を要し、不備な点が多かった。

4 主な取組の成果

新規施設のため、新しい調理設備、器具類の稼働・調整作業フローづくりに調整を要したが、自前の炊飯システムを含め、衛生管理基準に基づいた安心・安全な給食を提供できた。

5 今後の課題

安全、安心な学校給食の提供に向けて、今以上に衛生管理を徹底し、食物アレルギー対策や食中毒、感染症を防止して、安定的に安全、安心な学校給食を提供する。また、施設内事故ゼロに努める。

事務事業評価書

担当課長評価

業務開始以降、一部機械設備の不具合による故障や誤作動が生じ、調理システムに対する不慣れもあり、米飯の食味問題と給食配食時間に遅延の事象が数日発生した。

この改善のために期間を要した経緯があり、また、パススルー方式による相互の手助けや連携が困難な状況となり、調理員の負担も短時間に集中し重労働となっている。

こうした状況を十分に把握しながら、調理員の待遇改善と委託も視野に鋭意検討が必要である。

所管評価	1. 重点的に継続	2. 現状のまま継続	<input type="radio"/>	3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
	5. 統合・連携を検討	6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

1次評価(教育長評価)

安全安心な給食を安定して提供できるように努力していく。調理部門の民間委託も検討を始めていきたい。

1次評価	1. 重点的に継続	2. 現状のまま継続	<input type="radio"/>	3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
	5. 統合・連携を検討	6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

2次評価(評価委員評価)

調理員の正職と嘱託の割合はどうなっているか。この人数で2500食程度作るのはとても大変だと思う。調理員の人数を増やすほうが、待遇改善よりも大事かもしれない。

調理をする人をあせって調理するよりもある程度ゆとりを持って調理をするほうが、おいしいものもできるし、ミスも少ないと思う。

これだけの人数では、人間関係の難しさもあると思う。センターの所長とそれぞれのパートの主任が必要になってくる。

楽しい職場でよい雰囲気でみんながつくることはとても大事である。チームワークよく、心にゆとりのある調理をお願いしたい。

2次評価	1. 重点的に継続	2. 現状のまま継続	<input type="radio"/>	3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
	5. 統合・連携を検討	6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

多可町教育委員会事務事業評価シート(平成25年度)

(A面)

1 事務事業の概要		担当課	
		教育総務課	
事務事業名		新規・継続	事業開始年度
那珂ふれあい館運営事業		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	年度 ○ H20以前 ○ 未定
事務事業の体系			
計画 掲載	多可町総合計画 個別計画	○政策	学ぼう活かそう
		□施策	文化と伝統に息づいたまちをつくる
根拠法令・条例・要綱等			
多可町ピジターセンターライブ			
事務事業の具体的内容			
地域の歴史学習の拠点施設として勾玉作りや土器作り、ぞうり作りなど伝統文化にも触れる体験学習を行っている。又、住民のニーズにも合った内容も盛り込み、教える側の技術を生かせる場でもあり学ぶ側もいきいき学べ、ともに交流の場を通じ人づくり・まち作りにつながる学習機会の提供を行っている。		委託	全部委託 ○ 委託なし(全部直営)
2 事務事業の目的		意図 (どういう状態にしたいのか)	
対象 (働きかける相手・誰が・もの)	どのような手段で		
職員・住民	住民	施設周知を図り歴史や伝統文化の学習や学習成果の活用の場とする	

3 取組の状況

事務事業を構成する業務		活動内容	活動指標(単位)	24年度	25年度	26年度目標	自己評価(達成度)
1 那珂ふれあい館サポーター等育成業務		サポーター等との検討会開催	回	1	1	1	2
2 多可ふれあいボランティア養成業務		多可ふれあいボランティア会議・研修会開催	回	9	7	7	5
3 イベント企画調整運営に係る業務		自主イベント実施	回	187	106	130	3
4 談話室企画展業務		企画展実施	回	11	11	11	3
5 歴史セミナー業務		おもしろ歴史セミナー開催	回	3	3	3	3
6 年間集客数			人	14988	11387	10000	2

(具体的取組内容)

体験学習については、歴史と伝統文化に基づいたメニューに絞り込んで実施。

啓発事業として、町内小学生対象の『れきしたんけんたいIN TAKA』を行ったほか、多可町の歴史、文化財についての出前講座を実施。

4 主な取組の成果

- ・歴史学習の拠点としての機能をいかした、歴史と伝統文化に基づいた体験学習メニューに絞り込むことにより、他施設で行う事業との重複を避け、独自性のあるメニューとなりつつある。
- ・子供たちや町民の方々への、よりわかりやすく、より具体的な多可町の歴史、伝統文化の伝達

5 今後の課題

体験学習メニューの開発。子供のみでなく、大人が参加できるメニューの実施。

出前講座のさらなる周知と町内の子供たちへの歴史、伝統文化の啓発手法の開発。

開館以来のサポート制度を見直し、館運営における位置づけを明確化する。

『科学の祭典』会場の中央公民館への移転に伴う来館者減を補うため、定期的な体験イベント数を増やすほか、企画展示の充実、新たなイベントの開発などによる来館者増を目指す。

事務事業評価書

担当課長評価

歴史に特化した社会教育施設として、歴史セミナーや出前講座の開催に力を注いでいる。今後も体験学習などのイベントも広く周知しながら、歴史と憩いのふれあい拠点施設として、計画的に利用の拡大を図り、地域の文化と交流の推進に迫られている。

所管評価	1. 重点的に継続	<input checked="" type="radio"/>	2. 現状のまま継続		3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
	5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

1次評価(教育長評価)

歴史と文化の拠点として、より多くの人々に利用していただくようにPRしていく。また出前講座の開催にも一層力を入れていきたい。

1次評価	1. 重点的に継続	<input checked="" type="radio"/>	2. 現状のまま継続		3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
	5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

2次評価(評価委員評価)

歴史のこと以外で科学の祭典などのイベントで、普段行かない人が那珂ふれあい館に行くといふところはあった。

たとえば、昭和の典型的な古民家を移築・保存し、かまどなどで昭和の暮らしを体験できればいいと思う。歴史に特化するのであれば、古代史だけでなく現代史も学べるので、違う場所にあれば行きにくいが、同じ場所にあれば利用しやすいと思う。

年間集客数が減っているが、何か原因があったのか。歴史に特化しなければ、いろんなイベントで来客も増えるが、歴史だけでは人数も減ってしまうのかもしれない。何とか残していくってほしい施設である。

2次評価	1. 重点的に継続	<input checked="" type="radio"/>	2. 現状のまま継続		3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
	5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

多可町教育委員会事務事業評価シート(平成25年度)

(A面)

1 事務事業の概要		担当課 教育総務課				
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度		
埋蔵文化財保護事業		<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 継続	年度 <input type="radio"/> H20以前	年度 <input type="radio"/> 未定		
事務事業の体系						
計画 掲載	多可町総合計画	<input checked="" type="radio"/> 政策 <input type="radio"/> 施策	地域文化の振興 文化財の保護・周知			
	個別計画					
根拠法令・条例・要綱等 文化財保護法、多可町文化財保護条例						
事務事業の具体的な内容						
埋蔵文化財発掘調査、整理調査、分布調査等を円滑に推進する 文化財の保存、管理、啓発		委託	全部委託 <input checked="" type="radio"/> 一部委託 委託なし(全部直営)			
2 事務事業の目的						
対象 (働きかける相手・誰が・もの)	どのような手段で	意図 (どういう状態にしたいのか)				
職員・住民	住民	文化財の保護・周知・活用を図る				
3 取組の状況						
事務事業を構成する業務	活動内容	活動指標(単位)	24年度	25年度	26年度目標	自己評価 (達成度)
1 埋蔵文化財発掘調査	発掘調査等現地説明会開催	回	1	0	1	—
2 埋蔵文化財発掘調査	発掘した箇所数	箇所	9	16	6	3
3 埋蔵文化財整理調査業務	報告書の刊行	件	2	2	2	3
4 文化財保護審議会に関する業務	文化財保護審議会開催	回	2	1	1	3
5 文化財悉皆調査業務	悉皆調査延べ日数	日	60	60	60	3
6 展示企画展	談話室による歴史資料の展示	回	2	2	2	3
(具体的な取組内容) 埋蔵文化財調査に関しては、小規模の試掘、確認、立会調査のみで、現地説明会を行える全面調査の事業はなかった。						

4 主な取組の成果	
<ul style="list-style-type: none"> 各種開発事業にともない、事業を事前に把握し、開発者と事前協議を行い確認調査、立会い調査等の対応を行ったほか、全面調査を行った遺跡について、整理作業を行い、報告書を作成した。 悉皆調査による調査成果を、出前講座、雨乞い踊り報告会、歴史探検隊事業等の啓発事業に活用。 	

5 今後の課題	
文化財啓発事業の充実(館内文化財展示の展示替え等) 民俗資料の活用	

事務事業評価書

担当課長評価

現在、町内の文化財悉皆調査を実施しており、平成21年以来、仏像・神像物、石造物、民俗行事、古文書、版木・建物を約20年計画で予定している。調査完了後は報告書を作成しており、今後も着実に調査を実施する予定である。

また、埋蔵文化財の確認調査も実施しながら保護・保全に努め成果を残している。

所管評価		1. 重点的に継続	<input checked="" type="radio"/>	2. 現状のまま継続		3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

1次評価(教育長評価)

現状のまま継続していくことが必要と考える。

1次評価		1. 重点的に継続	<input checked="" type="radio"/>	2. 現状のまま継続		3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

2次評価(評価委員評価)

現状のまま継続されたい。

2次評価		1. 重点的に継続	<input checked="" type="radio"/>	2. 現状のまま継続		3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

多可町教育委員会事務事業評価シート(平成25年度)

(A面)

				担当課				
				教育総務課				
1 事務事業の概要		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度				
事務事業名 図書館運営事業		<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続	15 年度 H20以前	<input type="checkbox"/> 年度 <input type="checkbox"/> 未定				
事務事業の体系								
計画 掲載	多可町総合計画 個別計画 図書館機能の充実	○政策	学ぼう、活かそう					
		□施策	生涯を通して、学び、教え合う生涯学習の体制を構築する					
根拠法令・条例・要綱等								
図書館法 多可町図書館条例								
事務事業の具体的な内容								
図書、記録及びその他資料を収集し、図書館及び加美・八千代プラザ分室において、利用者へ閲覧・貸出を行うとともに、研究・調査の支援を行う。また、郷土資料・行政資料等の永年保存に努める。			<table border="1"> <tr> <td>委託</td> <td>全部委託 委託なし(全部直営)</td> <td>○一部委託</td> </tr> </table>			委託	全部委託 委託なし(全部直営)	○一部委託
委託	全部委託 委託なし(全部直営)	○一部委託						
2 事務事業の目的								
対象 (働きかける相手・誰が・もの) 住民		どのような手段で 講座等の開催や広報、また、適切な資料提供等により、利用者増を図る。	意図 (どういう状態にしたいのか) 図書等を利用者に提供することにより、生涯学習を推進し、豊かな生活を支援する					
3 取組の状況								
事務事業を構成する業務	活動内容	活動指標(単位)	24年度	25年度	26年度目標			
1 図書の貸出・返却	講座・イベントの開催や広報・図書館だより・たかTVなどによるPRIにより、利用者の増加を図る。また、来館者への適切な資料提供等により満足していただくよう努め、リピーターを増やす。	貸出冊数(冊)	174,884	165,288	175,000			
2 情報提供(レファレンス)		レファレンス(件)	818	780	1,000			
3 図書の充実		年間購入冊数(冊)	8,987	6,763	6,500			
4 講座・イベント		開催回数(回)	46	32	30			
5 町民登録率	%	33.2	35.2	36.2				
(具体的取組内容) より利用しやすい図書館の将来像として、生涯学習センターとの複合型施設の整備に向けた基本計画策定への参画や先進地視察を行った。								
4 主な取組の成果								
図書館を利用したことがない住民の皆さんに図書館を知ってもらい、図書館を利用することの素晴らしさを実感してもらうために、毎年図書館まつりを開催している。 H25年度開館十年を迎記念行事を行い図書館利用のPRIにも取り組んでいる。映画鑑賞会・玉岡かおる講演会、斎藤卓治ワークショップを開催した。								
5 今後の課題								
既存施設改築により開館したため、施設の老朽化、蔵書収容能力や各種サービススペースの不足等の問題を抱えており、図書館サービス改善のための施設整備が急務となっている。かみ・やちよの分室についても、貸出数が伸びておりより一層の蔵書の充実が必要である。 図書館は、利用者増加のため、立地やその他施設との複合化も含め利用しやすい図書館として種々の条件を充実させることが望ましい。								

事務事業評価書

担当課長評価

平成16年図書館開設以降、蔵書の整備をはじめ利用のしやすい、「地域に役立つ図書館」づくりを目標に工夫を重ねている。また、25年7月から西脇市との定住自立権構想に基づく、相互に貸出返却ができる体制が整い運用しており、相互利用による利便性向上の成果を上げている。

今後は更に、地域づくりの拠点施設として利用拡大のための整備推進が必要と考えられる。

所管評価	1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続	<input checked="" type="radio"/>	3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
	5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

1次評価(教育長評価)

生涯学習の拠点施設として、公民館機能などとの複合化を検討する。また学校園との一層の連携を深めていくことが必要である。

1次評価	1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続		3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
	<input checked="" type="radio"/> 5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

2次評価(評価委員評価)

図書館は夜も10時まで利用でき、休館日もなくとも便利なことから分室をより充実してほしい。高齢化社会で35パーセントが65歳以上になり、その人たちが昼間は図書館を利用する。高齢者が図書館を利用するのは、近くで便利な分室であると思う。高齢者にやさしい図書館は、分室をより充実することも大事である。

今、検討中の庁舎に生涯学習センター・図書館を含めて建てるとき、いろいろなことを一つの場所で行えるので利用者も増えると思う。

学校に図書を貸し出すのもいいことである。

図書の貸出冊数の割には、町民登録率が少ない。

2次評価	1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続		3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
	<input checked="" type="radio"/> 5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

平成25年度多可町教育委員会事務事業評価票

ふるさと多可町を愛し、自らの夢や目標に向かってたくましく生きる、こころ豊かな子どもの育成		
施 策 名	夢と感動与える「教師力」の向上	
所 管	教育委員会 こども未来課	
施策目標 (目指すべき 状態)	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者、児童・生徒、教師が日常的に相談・支援が出来る体制づくりを進める。 ・「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」のバランスのとれた「生きる力」を育み、夢や目標を持った、たくましく生きる子どもの育成。 ・誰からも信頼される人間性と魅力ある授業づくりのための教育実践力に磨きをかけ、使命感のある教師の育成に努める。 	
施策を取り巻く環境	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化が急激に進む中で、将来を見据えた教育環境、教育体制、学校園の規模・効果的な運営等のあり方などについて検討していく必要がある。 ・教職員の資質向上を図るために、さまざまな研修を開催し、また、経験豊富なOB教員を学校に派遣し、校内授業研究を充実させる支援をしていく必要がある。 ・子どもたちが、杉原紙や播州歌舞伎、敬老の日発祥の町などの多可町の伝統や文化を十分理解し、多可町を愛する気持ちを醸成するため、さまざまな体験教育、体験活動が必要である。 ・平成19年度に特別支援教育法が制度化され、各関係機関と連携を図りながら、一人一人のニーズにあった支援を行い、きめ細やかな特別支援教育を進める必要がある。 	
施策の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員研修として人権教育とふるさと教育を悉皆研修として実施し、ほとんどの教職員が参加した。校内研修においては、各学校の実態や課題等を踏まえたテーマを設定し、計画的に研修を推進する研修体制が構築されている。 ・臨床心理士による巡回相談等は、相談件数が増加し、各校における特別な支援を要する園児児童生徒等への支援体制を整えていく上で、十分に役割を果たしている。 ・外国青年招致事業により生の英語に触れ、英語を身近に感じ、ALTと実用的な英語を積極的に交わすことができた。小学校や幼稚園でも積極的な活用が図られている。 ・専門的知識技術を持つスクールカウンセラーにより、児童生徒が抱えている課題を十分把握し、支援体制を整えることができ、児童生徒一人一人の実態に応じた効果的な指導・支援のための補助活動を行うことができた。不登校傾向や問題行動を起こす児童生徒への指導や教育相談、家庭との連携を図る補助的な活動ができている。 ・人前に立っても、物おじすることなく、自分たちがまとめてきた提案事項を発表できた。多可町の良いところを多く知るきっかけとなり、多可町を愛する気持ちが育ってきてている。 	
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・学校現場の実態や課題等に即した研修会を企画していくことが必要である。教職員の大量退職時代を迎へ、今後、若手教員が増加する中、学校現場とタイアップした育成研修が必要である。 ・特別な支援を必要とする園児児童生徒が増加傾向にある。関係機関と連携した相談体制等を充実するなど、学校園の特別支援教育推進を積極的に支援していく体制づくりが必要である。 ・計画の実施に当たって、地域住民の理解・協力が不可欠であり、きめ細やかな情報提供が必要になる。統合準備委員会だより等住民周知を図っていく。また、区長会等関係団体への適切な報告・調整も必要である。 ・今後、計画の実施に当たっても地域住民の理解・協力は不可欠であり、きめ細やかな情報提供が必要になる。また、議会や教育委員会、区長会等関係団体への適切な報告・調整も必要である。 	
講 評	<p>II- 1 はじめて一生懸命に取り組んでいる先生が多い。学校を異動してきた先生も意欲的に取り組んでいる。校内で自主的にペテラン教諭が軸になって若手を育てる事が大事である。授業や学級経営について気楽に話し合いができる雰囲気作りも大事である。</p> <p>II- 2 内容を見直しながら継続されたい。</p> <p>II- 3 マンネリ化といつても子どもにとってはじめて新鮮である。先生方の心も持ち方一つである。</p> <p>II- 4 以前よりはかなり人数が増えている。本当に困っている人にいきわたるような制度である必要がある。</p> <p>II- 5 小学校の英語は今後変わってくるので、ALTの存在が重要である。</p> <p>II- 6 内容を見直しながら継続されたい。</p> <p>II- 7 実際に発達障がいの人から話を聞くのもとても勉強になる。そういう講演をされている人もいるので、そのような研修を行うのもいい。</p> <p>II- 8 今後の需要に対応して、内容を見直しながら継続されたい。</p> <p>II- 9 現状のまま継続されたい。</p> <p>II-10 多可町の良さを見せるようなワークショップを開き、いろいろな意見を出したり、交流を重ね、ふれあいトークを開くのも一つの方法ではないかと思う。</p> <p>II-11 内容を見直しながら継続されたい。</p> <p>II-12 大きな取り組みである。重点的に継続されたい。</p>	

平成25年度多可町教育委員会事務事業評価票

施策を構成する事務事業の状況

事務事業名	評価委員意見	担当課・所管
II - 1 教職員研修事業	妥当である	こども未来課
II - 2 特別支援教育推進事業	妥当である	こども未来課
II - 3 トライやる・ウィーク事業	妥当である	こども未来課
II - 4 就園奨励・就学援助事務	妥当である	教育総務課
II - 5 国際教育推進事業(外国青年招致事業)	妥当である	こども未来課
II - 6 環境体験・自然学校事業	妥当である	こども未来課
II - 7 教育相談等生活指導関連事業	妥当である	こども未来課
II - 8 スクールバス運行事業	妥当である	こども未来課
II - 9 理科・音楽教育推進事業	妥当である	こども未来課
II - 10 子どもふれあいトーク事業	妥当である	こども未来課
II - 11 養護教諭派遣事業(園保健事業)	妥当である	こども未来課
II - 12 学校規模適正化計画策定事業	妥当である	こども未来課

(注)評価委員の意見は教育委員会の自己評価に対する意見である。

多可町教育委員会事務事業評価シート(平成25年度)

(A面)

				担当課			
				こども未来課			
1 事務事業の概要		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度			
事務事業名 教職員研修事業		<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 継続	年度 ○ H20以前	年度 ○ 未定			
事務事業の体系							
計画 掲載	多可町総合計画 個別計画	<input type="radio"/> 政策	のびのび育とう、育てよう				
		<input type="checkbox"/> 施策	家庭、地域とともに個性ある学校園をつくる				
教職員の資質向上							
根拠法令・条例・要綱等 教育公務員特例法21条22条、地方公務員法39条							
事務事業の具体的な内容							
教職員全体研修や専門的分野、経験年数による研修の開催や校内研修及び自主研修などへの補助金交付業務を行い、教職員の資質向上を図る。		委託	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="radio"/> 委託なし(全部直営)	<input type="checkbox"/> 一部委託			
2 事務事業の目的							
対象(働きかける相手・誰が・もの) 多可町内全教職員		どのような手段で 研修会	意図(どういう状態にしたいのか) 教職員の力量と資質を高める。				
3 取組の状況							
事務事業を構成する業務		活動内容	活動指標(単位)	24年度	25年度	26年度目標	自己評価(達成度)
1 教職員全体研修の開催	教職員研修の年間実施計画を基に、研修会を開催し、教職員の資質向上を図る。	回	3	3	3	3	
2 経験者研修の開催		回	3	3	3	3	
3 県教委等の開催研修への参加希望取りまとめ業務		回	55	53	50	3	
4 校内研修・教職員自主研修補助金交付決定業務		回	28	28	30	3	
5 各学校園内の校内研修		回	24	24	24	3	
6 研究会・研修会等参加者数		人	4832	4845	4800	3	
(具体的取組内容) 教職員としての豊かな人間性と確かな指導力を培うとともに、学校園の組織力の向上を図るために、多可町教職員全体研修、若手育成研修、町教委主催初任者研修、学校経営研修講座、事務職員研修等、様々な研修会を企画した。							
4 主な取組の成果							
教職員全体研修としては、人権教育、ふるさと教育を悉皆研修とし、ほとんどの教職員が参加した。また、若手育成研修は、少しずつ内容を充実させることができた。また、県教委主催の生徒指導研修や道徳教育研修等に、各学校から意欲的に参加することができた。校内研修については、各校の実態や課題等を踏まえたテーマを設定し、計画的に研修を推進する研修体制が構築されている。							
5 今後の課題							
本町の学校現場の実態や課題等に即した研修会を企画していくことが必要である。また、教職員の大量退職時代を迎え、今後、若手教員が増加する中、学校現場とタイアップした育成研修が課題である。							

事務事業評価書

担当課長評価

悉皆研修をはじめとして研修内容も充実しており教職員からも参加して良かったという声を聞いている。今後は多くの教職員が自主的にいろいろな研修に参加できるような仕掛けを工夫していくことも必要である。

所管評価	<input type="radio"/>	1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続	<input checked="" type="radio"/>	3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

1次評価(教育長評価)

教職員の大量退職時代を迎えるにあたり、内容を見直しながらではあるが、教職員の資質及び指導力向上には研修が欠かせないので、重点的に継続していくことが必要である。

1次評価	<input checked="" type="radio"/>	1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続		3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

2次評価(評価委員評価)

はじめて一生懸命に取り組んでいる先生が多い。学校を異動してきた先生も意欲的に取り組んでいる。

今、若い先生が増えている。校内では自主的にベテラン教諭が軸になって若手を育てることが大事である。校内で授業や学級経営について気楽に話し合いができる雰囲気作りも大事である。

先生が地域を学ぶことは大事である。研修で説明をする側も先生には伝えることはいっぱいあり、話すことができ、とてもよかったですと言っていた。身近に講師はいるので、学校の研修などで活用してほしい。

研修は非常に手厚く対応できているので、引き続き継続してほしい。

2次評価	<input type="radio"/>	1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続	<input checked="" type="radio"/>	3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

多可町教育委員会事務事業評価シート(平成25年度)

(A面)

1 事務事業の概要		担当課 こども未来課		
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
特別支援教育推進事業		<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> 年度 <input checked="" type="radio"/> H20以前	<input type="radio"/> 年度 <input checked="" type="radio"/> 未定
事務事業の体系				
計画 掲載	多可町総合計画	<input type="radio"/> 政策	のびのび育どう、育てよう	
	個別計画	<input type="radio"/> 施策		
根拠法令・条例・要綱等				
文部科学省通知・学習指導要領・発達障害者支援法・学校教育法等の一部を改正する法律 障害者の権利に関する条約批准等				
事務事業の具体的内容				
幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行う。		<input type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 委託なし(全部直営)	

2 事務事業の目的		
対象(働きかける相手・誰が・もの)	どのような手段で	意図(どういう状態にしたいのか)
担任・保護者等	健康福祉課、臨床心理士等との連携	障害のある幼児児童生徒の自立や社会参加ができるように支援する

3 取組の状況						
事務事業を構成する業務	活動内容	活動指標(単位)	24年度	25年度	26年度目標	自己評価(達成度)
1 臨床心理士による巡回訪問	支援をする児童等の観察と支援体制に係る助言等	訪問指導回数	19	27	28	3
2 コーディネーター部会	特別支援教育コーディネーター会議を開催する	開催回数	3	3	3	3
3 サポートファイルについての意見交換の開催	園児児童生徒の適正就学に向けて、情報交換をしたりサポートファイルの効果的な活用等について意見交換をしたりする。	開催回数	3	2	2	3
4 適正就学指導委員会		開催回数	17	14	14	3
5 適正就学指導に係る情報交換会の開催		開催回数	13	13	13	3
(具体的取組内容) 例えば、臨床心理士による巡回訪問・相談では、特別な支援を要する園児児童生徒の様子を観察し、適切な支援のあり方について助言をいただいている。様々な事業を通して、学校園の特別支援教育の推進体制が充実するように取り組んでいる。						

4 主な取組の成果	
<ul style="list-style-type: none"> ・臨床心理士による巡回相談等は相談件数が増加し、各校における特別な支援を要する園児児童生徒等への支援体制を整えていく上で、十分に役割を果たしている。 ・特別支援教育コーディネーター会議は年間3回開催し、国や県の動きを踏まえながら研修をしたり情報交換をしたりすることができた。 ・適正就学指導に係る取組についても、情報交換等を密にしながら適正な就学指導が図られている。 	

5 今後の課題	
本町においても特別な支援を必要とする園児児童生徒が増加傾向にある。関係機関と連携した相談体制等を充実するなど、学校園の特別支援教育推進をより積極的に支援していく体制づくりが必要である。	

事務事業評価書

担当課長評価

サポートファイルの活用などまだまだ課題も多いが、着実に成果が見えかけている。今後ともたえず内容を精査しながら事業を充実させていく必要がある。

所管評価		1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続	<input checked="" type="radio"/>	3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

1次評価(教育長評価)

学校園や保護者、関係機関との連携を取りながら、本当に必要なところに手が届いているか内容を見直しながら継続していくことが必要。

1次評価		1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続	<input checked="" type="radio"/>	3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

2次評価(評価委員評価)

内容を見直しながら継続されたい。

2次評価		1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続	<input checked="" type="radio"/>	3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

多可町教育委員会事務事業評価シート(平成25年度)

(A面)

1 事務事業の概要 <Plan①>

担当課

こども未来課

事務事業名	新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
トライやる・ウィーク事業	新規 <input type="radio"/> 継続 <input checked="" type="radio"/>	年度 <input type="radio"/> H20以前 <input checked="" type="radio"/>	年度 <input type="radio"/> 未定 <input checked="" type="radio"/>

事務事業の体系

計画 掲載	多可町総合計画 個別計画	○政策	のびのび育とう、育てよう
		□施策	家庭、地域とともに個性ある学校園をつくる

根拠法令・条例・要綱等

兵庫県教育委員会交付金交付要綱

事務事業の具体的な内容

地域や自然の中で様々な体験活動を実施することにより、地域に学び、自分を見つめ、他人を思いやる心情を育てるとともに、自律性を高め「生きる力」を育むことを目指す学校教育活動を推進する。

委託	全部委託	一部委託
	○ 委託なし(全部直営)	

2 事務事業の目的 <Plan②>

対象(働きかける相手・誰が・もの)	どのような手段で	意図(どういう状態にしたいのか)
中学校2年生生徒	地域や自然の中で様々な体験活動を実施する。	生きる力をつける

3 取組の状況

事務事業を構成する業務	活動内容	活動指標(単位)	24年度	25年度	26年度目標	自己評価(達成度)
1 推進委員会	事業の運営方針の検討	町推進委員会の開催(回)	1	1	1	3
2 事業所巡回	生徒の活動状況の観察	受入れ事業所数(箇所)	81	72	67	3
3						
4						
5						

(具体的取組内容)

推進委員会をトライやる・ウィーク実施前に開催し、事業内容を検討。どの生徒がどの事業所に行くのか、その時点ではほぼ決定しているが、これまでの取組報告及び事業所巡回の日程を調整。できるかぎり、生徒の選択肢が増えるよう、新規事業所の開拓を学校の先生及び推進委員で行う。

4 主な取組の成果

年によって、生徒の希望事業所の偏りがある。これまでお世話になっていた事業所は、今後もお願いできるよう引き止める努力を行った結果、前年度から生徒数が減少したが、受入れ事業所数はそんなに減少はなかった。

5 今後の課題

生徒の減少が予想され、これまで受け入れてもらっていた事業所が、生徒の希望が無くなる期間が継続することが予想される。それらの事業所に、今後とも受入れ事業所として登録をしてもらっておくよう、引き続きお願いしていく。そうすることにより、生徒の選択肢が広がるものと考える。

事務事業評価書

担当課長評価

担当者会でトライやる・ウィークの趣旨を十分に話し合った結果、意義深いトライやる・ウィークが実施できたように思う。今後ともトライやる・ウィークの趣旨を事業所の方に十分理解していただき、子どもたちにとって意義深い事業となるよう担当者会を充実させていく必要がある。

所管評価		1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続	<input type="radio"/>	3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

1次評価(教育長評価)

生徒を受け入れていただく事業ともトライやる・ウィークの趣旨等について事前に十分話し合い、より一層意義のある事業としたい。経費についても見直す必要がある。

1次評価		1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続	<input type="radio"/>	3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

2次評価(評価委員評価)

マンネリ化といつても子どもにとってははじめてで新鮮である。先生方が同じことをすることにいつも同じ気持ちで対応できないことがマンネリ化だと思う。同じ事業所で同じことをしても先生がいろいろな子どもに対応できるように配慮してきちんと一から積み上げることが大事である。先生方の心の持ち方ひとつである。

今、一次産業は外国人の就労が多い。二次産業にも若者が就かなくなっている。そういうところで受け入れてもらい、体験できるようになればとてもいいことである。

2次評価		1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続	<input type="radio"/>	3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

多可町教育委員会事務事業評価シート(平成25年度)

(A面)

担当課

教育総務課

1 事務事業の概要

事務事業名	新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
就園奨励・就学援助事業	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> 年度 <input checked="" type="radio"/> H20以前	<input type="radio"/> 年度 <input type="radio"/> 未定
事務事業の体系			
計画 掲載	多可町総合計画 個別計画	<input checked="" type="radio"/> 政策 <input type="radio"/> 施策	笑顔でつつむ、あたかいまち のびのび育とう、育てよう
根拠法令・条例・要綱等			
多可町立幼稚園条例 特別支援学校への就学奨励に関する法律			
多可町就学援助規則 要保護及び準要保護生徒援助費補助金及び特殊教育就学奨励費補助金交付要綱			
事務事業の具体的な内容			
就園、就学困難な園児、児童生徒の保護者にその費用の一部を援助する。特別支援の必要な児童生徒に対し、適正就学委員会の開催によりその対応を検討し、その保護者の経済的支援を行う。		<input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/>	全部委託 一部委託 委託なし(全部直営)

2 事務事業の目的

対象(働きかける相手・誰が・もの)	どのような手段で	意図(どういう状態にしたいのか)
就園、就学困難な園児児童生徒 特別支援が必要な児童生徒 小中学校児童生徒	左記の保護者	経済的負担を軽減し、就園、就学の機会均等を図る。

3 取組の状況

事務事業を構成する業務	活動内容	活動指標(単位)	24年度	25年度	26年度予定	自己評価(達成度)
1 幼稚園就園奨励費補助金業務	補助金交付申請・請求手続き	員数(人) 補助金額(千円)	7 584	8 582	8 629	3
2 就学援助制度認定業務	申請受付・認定手続きの実施	員数(人) 補助金額(千円)	220 14308	213 14,149	203 15,283	3
3 要保護児童生徒・特別支援教育就学奨励費補助金業務	補助金交付申請・請求手続き	員数(人) 補助金額(千円)	26 882	27 712	29 895	3
4 児童生徒に対する就学援助率	認定人員/在籍小中学生	%	10.7	10.8	10.7	3
5						

(具体的な取組内容)

4 主な取組の成果

申請に対し、厳格な審査のうえ認定を行ない、適切な支援を行った。

5 今後の課題

就園奨励、就学援助、また特別支援教育就学奨励費事業は、就園、就学困難な園児、児童生徒及び特別支援学級の児童生徒の保護者に、その費用の一部を助成するものであり、認定の対象となる家庭への援助制度の周知徹底を図る必要がある。

また、援助制度の公平化を図るため、申請理由が特別な理由がある場合については、申請時の家庭の状況が前年中の所得額を著しく下回る場合のみに限定することが望ましいと思われる。

事務事業評価書

担当課長評価

厳正に基準の見直しを行い、各学校教職員との連携の下で保護者からの申請事務を例年どおり実施しました。また、就学援助規則に基づき6月の定例教育員会に諮り認定を受け支援しているところです。

今後更に、学校並びに関係機関と連携を充実し、効率的な事務の推進により各種滞納等の問題解決に向けた取り組みが必要と思慮します。

所管評価		1. 重点的に継続	<input checked="" type="radio"/>	2. 現状のまま継続		3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

1次評価(教育長評価)

現状のまま継続する。

1次評価		1. 重点的に継続	<input checked="" type="radio"/>	2. 現状のまま継続		3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

2次評価(評価委員評価)

以前よりはかなり人数が増えている。給食費などが口座振替になったのも増えた要因であると思う。本当に困っている人にいきわたるような制度である必要がある。

2次評価		1. 重点的に継続	<input checked="" type="radio"/>	2. 現状のまま継続		3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

多可町教育委員会事務事業評価シート(平成25年度)

(A面)

1 事務事業の概要

事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度	担当課 こども未来課						
国際教育推進事業(外国青年招致事業)		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 年度 <input checked="" type="checkbox"/> H20以前	<input type="checkbox"/> 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未定							
事務事業の体系											
計画 掲載	多可町総合計画	<input type="checkbox"/> 政策									
	個別計画	<input type="checkbox"/> 施策									
個別計画 国内や海外との交流を促進する											
根拠法令・条例・要綱等											
事務事業の具体的な内容											
多可町における外国語教育を充実し、外国人青年との交流により相互理解を図るとともに、国際化の促進に寄与する。			<table border="1"> <tr> <td>委託</td> <td><input type="checkbox"/> 全部委託</td> <td><input type="checkbox"/> 一部委託</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td colspan="2">委託なし(全部直営)</td> </tr> </table>			委託	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 一部委託	○	委託なし(全部直営)	
委託	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 一部委託									
○	委託なし(全部直営)										

2 事務事業の目的

対象(働きかける相手・誰が・もの)	どのような手段で	意図(どういう状態にしたいのか)
外国青年	町民(児童・生徒)	多可町における外国語教育の充実。外国人青年との交流による相互理解、国際化の促進。

3 取組の状況

事務事業を構成する業務		活動内容	活動指標(単位)	24年度	25年度	26年度目標	自己評価(達成度)
1	英語指導助手	中学校を活動の拠点とし、週1回程度小学校や幼稚園での外国語活動の支援等を行う。	中学校・小学校・幼稚園での授業	690	690	690	3
2	公民館講座(英会話)講師		公民館講座	44	22	22	3
3	国際交流事業講師		各種国際交流事業	2	2	2	3
4							
5							

(具体的な取組内容)

4 主な取組の成果

外国青年招致事業により生の英語に触れ、英語を身近に感じ、ALTと実用的な英語を積極的に交わす事ができた。小学校や幼稚園でも積極的な活用が図られている。

5 今後の課題

外国青年招致事業は生の英語に触れさせ、実際的な会話を学ぶための方策として有効性が高いと考える。今年度も小学校や幼稚園でも積極的な活用が図られているところであり、今後とも現状のまま本事業を継続していくことが望ましいと考える。

事務事業評価書

担当課長評価

外国青年招致事業は児童生徒が生の英語に触れ、実際的な会話を学ぶための方策として有効性が高いと考える。今年度も中学生だけでなく小学生や幼稚園児で積極的な活用が図られた。小学校で英語の教科化の方向性も示されているところであり、内容を見直しながら本事業を継続していくことが望ましいと考える。

所管評価		1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続	<input checked="" type="radio"/>	3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

1次評価(教育長評価)

より効果的な活用になるよう、内容を見直しながら継続することが必要。

1次評価		1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続	<input checked="" type="radio"/>	3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

2次評価(評価委員評価)

小学校の英語は今後変わってくるので、ALTの存在が重要である。英語の授業はALTと担任で進めるのがいい。

2次評価		1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続	<input checked="" type="radio"/>	3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

多可町教育委員会事務事業評価シート(平成25年度)

(A面)

1 事務事業の概要		担当課 こども未来課					
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度			
環境体験、自然学校事業		<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続	年度	年度			
事務事業の体系		<input type="checkbox"/> H2G以前	<input type="checkbox"/> 未定				
計画 掲載	多可町総合計画	<input checked="" type="checkbox"/> 政策	のびのび育とう、育てよう				
	個別計画	<input type="checkbox"/> 施策	家庭、地域とともに個性ある学校園をつくる				
根拠法令・条例・要綱等							
兵庫県教育委員会交付金交付要綱							
事務事業の具体的内容							
心身共に調和のとれた健全な児童の育成のため、また、自然に対する畏敬の念をはじめ、命の大切さ、命のつながり等を実感させるとともに、美しさに感動する豊かな心を育むため、豊かな自然環境の中で集団生活を通じて、自然とのふれあいや人ととのふれあいを体験する。							
2 事務事業の目的		意図 (どういう状態にしたいのか) <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託なし(全部直営)					
対象 (働きかける相手・誰が・もの)		どのような手段で					
小学校3、5年児童		環境体験、自然体験・長期の宿泊訓練等	規範意識や思いやり、命の営み大切さ等の心を養う。				
3 取組の状況							
事務事業を構成する業務		活動内容	活動指標(単位)	24年度	25年度	26年度目標	自己評価(達成度)
1 実施計画書の作成	各事業実施校による	随時(月)	4月下旬	4月下旬	4月下旬		3
2 補助金申請事務	補助金交付申請・請求手続きによる	随時(月)	随時	4月下旬	4月下旬		3
3 事業実施	各事業実施校による	随時(月)	随時	随時	随時		3
4 実績報告業務	補助金交付申請・請求手続きによる	事業終了時早急に実施(月)	随時	随時	随時		3
5							
(具体的取組内容)							
兵庫県の交付金対象事業として「環境体験・自然学校事業」があり、管轄の小学校へ町から補助金を交付する。							
4 主な取組の成果							
体験活動として、「環境体験・自然学校事業」は小学校で定着し、事業実施のためのノウハウが蓄積され、事業が磨き上げられてきている。少ないコストで、それ以上の経験を得られる事業になっている。							
5 今後の課題							
事業内容がマンネリ化しないようにしている。ただ、児童にとっては初めてになるので、複雑になりすぎないように、事業計画をブラッシュアップしていく。							

事務事業評価書

担当課長評価

前年度とまったく同じプログラムで自然学校を実施するなど、プログラムマンネリ化が課題である。「体験ありて学び無し」とならないように、子どもたちの現状と課題を見据えた、つながりのあるプログラムデザインを描き、生きる力を育む自然学校となるよう教員の意識を高めていく必要がある。

所管評価		1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続	<input checked="" type="radio"/>	3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

1次評価(教育長評価)

子どもたちに生きる力を育むために必要な体験活動である。ねらいを再認識して、内容を見直しながら継続することが必要である。

1次評価		1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続	<input checked="" type="radio"/>	3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

2次評価(評価委員評価)

運動会などの学校行事は、何年も実施されてきている。
内容を見直しながら継続されたい。

2次評価		1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続	<input checked="" type="radio"/>	3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

多可町教育委員会事務事業評価シート(平成25年度)

(A面)

担当課

こども未来課

1 事務事業の概要						
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度		
教育相談等生活指導関連事業		<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 継続	年度 ○ H20以前	年度 ○ 未定		
事務事業の体系						
計画 掲載	多可町総合計画	<input type="radio"/> 政策	のびのび育どう、育てよう			
	個別計画	<input type="radio"/> 施策	家庭、地域とともに個性ある学校園をつくる			
根拠法令・条例・要綱等						
学習指導要領						
事務事業の具体的な内容						
スクールアシスタント・スクールラブを配置し、教育支援を行う。 子どものよりよい発達のために、スクールカウンセラーと連携しながら、本人またはその保護者や教員などに対して助言・援助を行う。		委託 ○	全部委託 ○	一部委託 ○	委託なし(全部直営) ○	
2 事務事業の目的						
対象(働きかける相手・誰が・もの)	どのような手段で	意図(どういう状態にしたいのか)				
児童生徒	スクールカウンセラーと連携	児童生徒等の実態に応じた効果的な指導支援を行う。				
3 取組の状況						
事務事業を構成する業務	活動内容	活動指標(単位)	24年度	25年度	26年度目標	自己評価(達成度)
1 SA・SLとの連絡調整	SA・SLが、発達障がいや問題行動・不登校など特別に支援を要する児童生徒に適切な対応をし、授業や生活への指導を補助する	配置数	19	19	17	3
2 SC相談業務		相談件数	756	985	850	4
3 SCとの連絡調整		配置数	4	4	4	3
4						
5						
(具体的な取組内容)						

4 主な取組の成果

- 専門的知識技術をもつスクールカウンセラーとの連絡調整により、児童生徒が抱えている課題を十分把握し、支援体制を整えることができ、児童生徒一人一人の実態に応じた効果的な指導・支援のための補助活動を行うことができている。
- 不登校傾向や問題行動を起こす児童生徒への指導や教育相談、家庭との連携を図る補助的な活動ができている。
- SA・SLの配置により学校が落ち着きを取り戻している。

5 今後の課題

- 児童生徒の課題や問題行動のさらなる多様化が推測される中、SA、SL、生活補助員のみならず担任、校長、教頭等とタイムリーに情報共有が図れる機会を定期的に保ちながら、発達障害についての基礎知識と基本的な支援方法、具体的な実践方法等について研修会を実施し、さらなる資質の向上を図りたい。

事務事業評価書

担当課長評価

スクールアシスタント、スクールラブ等の資質向上が大切であると考える。そのためには町費負担職員の研修会を充実していくことが必要である。

所管評価		1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続	<input checked="" type="radio"/>	3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

1次評価(教育長評価)

配置が適切か、効果的な活用が図られているか、常に検証しながら継続していく。人材の確保にも力を入れていくことが必要。

1次評価		1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続	<input checked="" type="radio"/>	3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

2次評価(評価委員評価)

実際に発達障がいの人から話を聞くのもとても勉強になる。そういう講演をされている人もいるので、そのような研修を行うのもいい。

2次評価		1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続	<input checked="" type="radio"/>	3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

多可町教育委員会事務事業評価シート(平成25年度)

(A面)

				担当課		
				こども未来課		
1 事務事業の概要		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度		
事務事業名 スクールバス運行事業		<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 継続	年度 ○ H20以前	年度 ○ 未定		
事務事業の体系						
計画 掲載	多可町総合計画	<input checked="" type="radio"/> 政策				
	個別計画	<input type="checkbox"/> 施策				
根拠法令・条例・要綱等 多可町スクールバス管理運営規程						
事務事業の具体的な内容						
各学校等よりの使用申請を取りまとめ、スクールバスの適正な運行、管理を行う。			<input checked="" type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 全部委託 委託なし(全部直営)	<input type="checkbox"/> 一部委託	
2 事務事業の目的		対象 (働きかける相手・誰が・もの) 児童生徒等		どのような手段で スクールバスの運行を通じて		
				意図 (どういう状態にしたいのか) 課外授業の充実・校外行事への参加を活発にする		
3 取組の状況						
事務事業を構成する業務	活動内容	活動指標(単位)	24年度	25年度	26年度目標	自己評価(達成度)
1 バス会社と委託契約締結	委託契約による	入札による契約締結(千円)	2,908	2,739	2,900	3
2 運行計画調整		2週間前までの調整	2週間前	2週間前	2週間前	3
3 実績精算		精算額				3
4 契約内での走行距離	Km	18,508	15,830	19,000	3	
5						
(具体的取組内容) 運行管理を業者と委託契約(契約事務は総務課) 使用団体からの使用申請の許認可事務、使用申請に基づく業者との連絡調整等						

4 主な取組の成果

小学校の課外授業、中学校の部活動での使用により、運行率はかなり高く、小中学校にとってはならない事業となっている。
使用調整については、学校間で行われているためスムーズである。

5 今後の課題

予約時の日程が空いていても、学校優先のため、学校園以外の団体(町)が使用しづらい状況にはある。
(各課には周知済みではあるが、年に何回かキャンセルせざるを得ない場合がある。)

事務事業評価書

担当課長評価

八千代区小学校の統合問題も含めた交流事業を見据え、学校が計画的にバスを利用できるよう調整していく必要がある。

所管評価		1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続	<input checked="" type="radio"/>	3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

1次評価(教育長評価)

より計画的・効率的にバスが活用できるように、内容を見直しながら継続することが必要である。

1次評価		1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続	<input checked="" type="radio"/>	3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

2次評価(評価委員評価)

今後の需要に対応して、内容を見直しながら継続されたい。

2次評価		1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続	<input checked="" type="radio"/>	3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

多可町教育委員会事務事業評価シート(平成25年度)

(A面)

担当課

こども未来課

1 事務事業の概要

事務事業名	新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
	新規	年度	年度
	○ 継続	○ H20以前	○ 未定
理科・音楽教育推進事業			

事務事業の体系

計画 掲載	多可町総合計画	○政策	のびのび育とう、育てよう
		□施策	家庭、地域とともに個性ある学校園をつくる
個別計画			

根拠法令・条例・要綱等

理科教育振興法・理科教育設備整備費等補助金交付要綱(文部科学省)

兵庫県教育委員会補助金交付要綱

事務事業の具体的な内容

理科教育設備を充実することにより、探究活動や課題研究など実験・観察をより一層重視した理科教育を推進する。 臨場感あふれる音楽に接することで、豊かな情操や感性を身に付けるきっかけとする。多可町の文化施設に対する理解を深め、芸術文化や多可町を愛するこどもたちを育成するために実施する。	委託	全部委託	一部委託
	○	委託なし(全部直営)	

2 事務事業の目的

対象(働きかける相手・誰が・もの)	どのような手段で	意図(どういう状態にしたいのか)
児童・生徒	・理科、算数・数学教材整備 ・県立芸術文化センターでの芸術体験 ・ペルディーホールでの芸術体験	より充実した学習環境を整備し、児童・生徒に豊かな情操や感性を身に付ける

3 取組の状況

事務事業を構成する業務	活動内容	活動指標(単位)	24年度	25年度	26年度目標	自己評価(達成度)
1 補助計画		随時(月)	4月下旬	4月下旬	4月下旬	3
2 補助申請		随時(月)	随時	随時	随時	3
3 事業実施	児童、生徒の理科、算数・数学への興味を高め知識教養を高める	随時(月)	随時	随時	随時	3
4 実績報告		事業終了時早急に実施(月)	随時	随時	随時	3
5 理科・算数・数学振興設備充足率		%	25.3	29.1	29.7	3
(具体的取組内容)						

町内10校の小中学校児童・生徒の教科学習において、基礎・基本的な学習理解を助け、確かな学習能力を身に付けさせるうえで重要であり、学校教育展開のために、その充実は不可欠である。各小中学校において工夫を凝らした教材整備ができるよう、各校の充足率をもとに計画的に実施校を選定し、多様な教材の中から適切な教材を整備する。

4 主な取組の成果

予算の範囲内において、各校の希望に沿った購入計画を策定し、教育設備の充実を図っている。
平成23年度、国庫補助による理科設備・算数数学設備の1校当たりの基準金額が従来より低額に改正され、理科設備整備率が上昇している。
国庫補助による理科設備整備は、各校で周期的に実施しており、学校により多少の差異があるものの、計画的に教育設備の充実が図られている。

5 今後の課題

国庫補助金を有効に活用し、年々国の示す基準額に対する現有率は高まっているが、依然低水準にあることに変わりはない、引き続き計画的な整備が必要である。
町財政が厳しい状況の中、国庫補助金を有効活用する等、より少ない経費で優先度や必要性の高い理科設備の整備を促していく必要がある。

事務事業評価書

担当課長評価

理科設備等に関しては、必要なものが適切に配備されている。今後とも本当に必要なものを適切に配備していく必要がある。

多可っ子芸術文化体験事業(わくわくベルディー)については、芸術鑑賞の意味合いとベルディーホールの施設見学の両方を兼ねており、多可町の子どもたちは一度はベルディーホールを体験できる意味でも継続して取り組んでいきたい。

所管評価	1. 重点的に継続	<input checked="" type="radio"/>	2. 現状のまま継続		3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
	5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

1次評価(教育長評価)

関係機関と十分連携して、現状のまま継続していくことが必要。

1次評価	1. 重点的に継続	<input checked="" type="radio"/>	2. 現状のまま継続		3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
	5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

2次評価(評価委員評価)

現状のまま継続されたい。

2次評価	1. 重点的に継続	<input checked="" type="radio"/>	2. 現状のまま継続		3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
	5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

多可町教育委員会事務事業評価シート(平成25年度)

(A面)

担当課

こども未来課

1 事務事業の概要

事務事業名	新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
子どもふれあいトーク事業	新規 <input checked="" type="radio"/> 継続	年度 <input type="radio"/> H20以前	年度 <input type="radio"/> 未定
根拠法令・条例・要綱等			
事務事業の具体的な内容			
小中学生の代表と町の幹部との多可町についての意見交換	委託 <input type="radio"/>	全部委託 <input type="checkbox"/>	一部委託 <input type="checkbox"/>
	○委託なし(全部直営) <input type="checkbox"/>		

2 事務事業の目的

対象(働きかける相手・誰が・もの)	どのような手段で	意図(どういう状態にしたいのか)
児童生徒	児童生徒	行政事務事業の内容を理解してもらい、町への期待や日頃行政に対して感じている疑問や課題などを提案してもらう。 そして、子どもの目線から見た町づくり行政の在り方を考える機会とする。

3 取組の状況

事務事業を構成する業務	活動内容	活動指標(単位)	24年度	25年度	26年度目標	自己評価(達成度)
1 小中学生代表選出	小中学生代表の選出、質問の取りまとめ、子どもふれあいトークの開催	小中学生代表(人)	34	34	34	3
2 子どもふれあいトークの開催		開催回数(回)	2	2	2	3
3						
4						
5						

(具体的取組内容)

ふれあいトークを通して、多可町の魅力を再発見しふるさと多可町を愛するとともに、地域の課題に対して前向きに取り組み、よりよい地域づくりに向けて努力する子どもの育成をめざす。

4 主な取組の成果

人前に立っても、物おじすることなく、自分たちがまとめてきた提案事項を言えた。町長や町の幹部の思いも知り、多可町の良いところを多く知るきっかけとなったり、多可町を愛する気持ちが育つてきている。

5 今後の課題

児童、生徒が町に対して提案した施策を精査し、どれだけ実現可能かを検討する。提案をおろそかにしないことにより、児童生徒が町に対して信頼をもち、将来的に多可町を内外から支える存在になってくれる。
そのためにも、トーク実施日までに、提案事項についてそれぞれの学校でどれだけ深く議論できるかが、重要と考える。結果もそうだが、それまでの経緯を重視したい。

事務事業評価書

担当課長評価

子どもたちの素直な意見が聞ける場、多可町の良さを再発見できるという場という点で効果的な事業である。

所管評価		1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続	<input checked="" type="radio"/>	3. 内容を見直しながら継続		4. 締め切り検討
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

1次評価(教育長評価)

多可町に愛着と誇りを持つ子どもの育成をめざして、内容を見直しながら継続していきたい。

1次評価		1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続	<input checked="" type="radio"/>	3. 内容を見直しながら継続		4. 締め切り検討
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

2次評価(評価委員評価)

政策アドバイザーの田中さんを招き、例えば多可町の良さを発見するようなワークショップを開き、いろいろな意見を出したり、交流を重ねた、ふれあいトークを開くのもひとつ的方法ではないかと思う。
工場見学や民間の人の話を聞きながらふるさとを語るのもいいと思う。

2次評価		1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続	<input checked="" type="radio"/>	3. 内容を見直しながら継続		4. 締め切り検討
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

多可町教育委員会事務事業評価シート(平成25年度)

(A面)

				担当課			
				こども未来課			
1 事務事業の概要		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度			
事務事業名		<input checked="" type="checkbox"/> 新規	年度	年度			
養護教諭派遣事業(園保健事業)		<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> H20以前	<input checked="" type="checkbox"/> 未定			
事務事業の体系							
計画 掲載	多可町総合計画 個別計画	<input checked="" type="checkbox"/> 政策	のびのび育とう、育てよう				
		<input type="checkbox"/> 施策	家庭、地域とともに個性ある学校園をつくる				
根拠法令・条例・要綱等							
学校保健安全法、保育所保育指針、幼稚園教育要領							
事務事業の具体的内容							
保健指導、健康診断、健康相談・相談活動、学校保健に関する各種計画及び組織活動の企画、運営への参画及び一般教員が行う保健活動(園保健情報の把握、救急体制及び救急処置、園環境衛生、伝染病の予防)への協力、保健室の運営		<input checked="" type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 一部委託	<input checked="" type="checkbox"/> 委託なし(全部直営)		
2 事務事業の目的		どのような手段で		意図 (どういう状態にしたいのか)			
対象 (働きかける相手・誰が・もの) 幼児及び保護者、教職員		疾病・伝染病・事故の予防、健康問題の解決心身の健康の保持・増進、早期救護、応急処置、疾病早期発見・早期治療		発達段階に応じて、健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力を養う。			
3 取組の状況							
事務事業を構成する業務		活動内容	活動指標(単位)	24年度	25年度	26年度目標	自己評価(達成度)
1 保健指導	保健指導・ほけんだより、健康診断、健康相談活動、学校保健安全計画立案への協力、教職員の行う保健活動(健康生活の実践状況、心の健康に関する実態、救急体制整備・応急処置、園環境衛生活動実施への協力、園内健康状況の把握)への協力、健康診断の器械・器具の整備と管理、救急薬品・材料の整備保管、健康観察の観点及び救急処置基準等の作成・管理、保健に関する諸表簿の整備及び諸情報の整備・保管、救急処置、保健指導の場としての環境設定とその整備・活用	ほけんだより発行(回) はみがき教室・病気予防教室(回) ミニ保健指導(回)	24 各6 12	24 各6 12	24 各6 12	3	
2 健康診断		3園健康診断[H23キッズランドがみ設立から内科(回→キッズランドかみはよは年2)、歯科(回→キッズランドかみは年2)、耳鼻科(回→5歳児のみ)、眼科(回→5歳児のみ)]	内科 6 歯科 5 耳鼻科 3 眼科 3	内科 6 歯科 5 耳鼻科 3 眼科 3	内科 6 歯科 5 耳鼻科 3 眼科 3	3	
3 健康相談・相談活動		健康相談(回) 相談活動(回)	必要時	必要時	必要時	3	
4		保健部会(回) マニュアルの作成(部)	26(必要時) 2(必要時)	26(必要時) 2(必要時)	26(必要時) 2(必要時)	3	
5 保健室の運営		来室人数(人)	必要時	必要時	必要時	3	
(具体的取組内容)							
保健指導・ほけんだより、健康診断、健康相談活動、学校保健安全計画立案への協力、教職員の行う保健活動(健康生活の実践状況、心の健康に関する実態、救急体制整備・応急処置、園環境衛生活動実施への協力、園内健康状況の把握)への協力、健康診断の器械・器具の整備と管理、救急薬品・材料の整備保管、健康観察の観点及び救急処置基準等の作成・管理、保健に関する諸表簿の整備及び諸情報の整備・保管、救急処置、保健指導の場としての環境設定とその整備・活用							
4 主な取組の成果							
食物アレルギーを抱える児童の増加など、健康安全への配慮がますます高まっている中、養護教諭の役割がますます重要となってきている。養護教諭はその役割を果たしている。							
5 今後の課題							
就学前の基本的生活習慣を身につける大切な時期に各園に養護教諭が配置され、実情に合わせた丁寧な関わりが計画的に実施できればよいと感じる。							

事務事業評価書

担当課長評価

食物アレルギーを抱える幼児の増加など、健康や安全への配慮がますます高まっている中、養護教諭の果たす役割がますます高まっている。特に問題行動起こす園児への対応に養護教諭が積極的に関わっていける体制を整えていく必要がある。

所管評価	1. 重点的に継続	2. 現状のまま継続	<input checked="" type="radio"/>	3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
	5. 統合・連携を検討	6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

1次評価(教育長評価)

園児の保健、安全及び健康増進、アレルギー対応など養護教諭の役割は大変大きいので、現状のまま継続することが必要である。

1次評価	1. 重点的に継続	<input checked="" type="radio"/>	2. 現状のまま継続		3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
	5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

2次評価(評価委員評価)

内容を見直しながら継続されたい。

2次評価	1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続	<input checked="" type="radio"/>	3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
	5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

多可町教育委員会事務事業評価シート(平成25年度)

(A面)

担当課

こども未来課

1 事務事業の概要

事務事業名	新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
多可町学校規模適正化基本計画策定事業	○新規 継続	25年度 H20以前	25年度 未定
事務事業の体系			
計画 掲載	多可町総合計画 個別計画 多可町小中学校規模適正化基本方針	○政策 □施策	のびのび育とう、育てよう 家庭、地域とともに個性ある学校園をつくる
根拠法令・条例・要綱等			
公立小・中学校の統合方策について(昭和31年通知) 公立小・中学校の統合について(昭和48年通知)			
事務事業の具体的な内容			
幅広く多角的な視野で適正な学校規模のあり方について審議を行ってきた。 保護者や児童、地域の方々等を対象としたアンケートや懇談会を実施するなど、地域との合意形成のもとで学校の適正規模及び配置について計画を策定した。		委託	全部委託 ○委託なし(全部直當)
教育機会の均等と教育水準の維持向上など望ましい学校教育環境の整備		一部委託	

2 事務事業の目的

対象(働きかける相手・誰が・もの)	どのような手段で	意図(どういう状態にしたいのか)
児童・生徒・教職員・地域	小中学校の適正規模及び配置に関する計画策定	よりよい教育環境の実現

3 取組の状況

事務事業を構成する業務	活動内容	活動指標(単位)	24年度	25年度	26年度目標	自己評価(達成度)
1 「地域の学校教育を考える会」意見書作成	各区における協議結果をもとに、学校規模の適正化に関する意見書作成	意見書の提出	—	3	完了	4
2 多可町学校規模適正化基本計画の策定	各考える会から受けた意見書の内容を尊重し、基本計画を策定	基本計画の策定	—	1	完了	4
3						
4						
5						

(具体的取組内容)

多可町学校規模適正化検討委員会からの答申を受け、平成24年4月に「多可町小中学校規模適正化基本方針」を策定。この方針に基づき、平成24年7月にすべての区に「地域の学校教育を考える会」を設置し、小中学校の規模の適正規模及び適正配置について協議を重ねた。平成25年9月、当考える会から受けた意見書の内容を尊重し、多可町学校規模適正化基本計画を策定した。

4 主な取組の成果

本計画の策定には地域住民の理解が不可欠であり、八千代区においては、平成24年7月の第1回会議をはじめとし、10回の会議、3回の校区別懇談会、各小学校・キッズランドやちよにおける4カ所での保護者説明会、また、保護者を対象にしたアンケート調査の実施、保護者対象のアンケート結果の説明会、八千代区全世帯アンケートを実施している。また、すべての区において「地域の学校教育を考える会」を設置し、地域住民の意見を尊重しつつ本計画を策定した。

5 今後の課題

今後、計画の実施にあたっても地域住民の理解・協力は不可欠であり、きめ細やかな情報提供が必要になる。八千代区小学校統合準備委員会および各専門部会での協議事項について、統合準備委員会だより、ホームページ、広報紙、たかテレビを活用しながら住民周知を図っていく。また議会や教育委員会、区長会や地域協議会など関係団体への適切な報告・調整も必要と考えている。

事務事業評価書

担当課長評価

地域の学校教育の在り方を考える会から提出された意見書をもとに、多可町学校規模適正化基本計画を策定することができた。この計画をもとに特に八千代区においては円滑な学校統合に向か、説明責任を十分に果たしながら誠実に取り組んでいく必要がある。

所管評価	<input checked="" type="radio"/>	1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続		3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

1次評価(教育長評価)

平成28年度の八千代区小学校の統合に向けて、大変重要な事業である。重点的に継続することが必要。

1次評価	<input checked="" type="radio"/>	1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続		3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

2次評価(評価委員評価)

大きな取り組みである。重点的に継続されたい。

2次評価	<input checked="" type="radio"/>	1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続		3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

平成25年度多可町教育委員会事務事業評価票

こころ豊かで(優しさと思いやり)、かしこい・そして心身ともにたくましい人づくり		
施 策 名	仕事と子育ての充実・子どもを守り、子育てを応援する地域コミュニティづくり	
所 管	教育委員会 こども未来課	
施策目標 (目指すべき 状 態)	<p>幼児期は、生涯にわたる人間形成の基礎を培う時期であり、次代を担う子どもたちが、生きる力を身に着け心身ともに健康でこころ豊かに育つことは、地域全体の願いでいる。就学前においては、本町のもつ豊かな自然と人の絆をいかしながら、豊かな心をもち、自然にふれ、ひとり、主体的に遊ぶ子どもの育成を目指します。</p> <p>少子化に対応し、地域の特性をいかし健やかな心身の発達をはぐくむ幼児教育をすすめ、安全で安心な豊かな体験の場づくりを目指して、学童保育・児童館・子育てふれあいセンター事業等の取組をすすめる。</p> <p>仕事と育児・糧の両立が図れる保育環境の提供を行い、就労意思のある保護者が離職しなくても良い保育環境の実現を目指す。</p>	
施 策 を 取 り巻く 環 境	<p>仕事と家庭の両立を支援する環境が整っていなかったために離職した方の割合(就学前児童の親)が21.5%と高く、保育サービスが確実に利用できる見込みや職場において育児休業制度等が整い働き続けやすい環境が整っていれば、継続して就労していたとの結果がでている。また、本町では、子育て中の母親の就業率が高く、多世代同居家族であっても、保育サービスへのニーズが高くなっている。</p> <p>また、本町の家庭の状況は、家族の三世代同居率が平成17年の国勢調査によると32.4%で県内市町の中で1位、平成20年度実施の子育てアンケート調査結果でも45.4%と高くなっている一方、ひとり親家庭も年々増加の傾向にある。</p> <p>少子高齢化により、子どもがいない地域も増加しており、地域における子どもの位置づけや人間関係の希薄化が進む中で、子育てにかかる知恵や相互扶助が得られにくくなっている。</p>	
施 策 の 達 成 状 況	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流では様々な世代の方々と交流を通して、幅広い人間関係を築くことができた。育児の悩みを整理しながら解消し、子育ての意識を高めることができた。 ・土曜日が開放になり、児童の利用時間が増え、自由来館が増加した。様々な体験を取り入れ、参加人数も徐々に増えている。 ・児童が安全に生活できるように心がけている指導員同士の連携を密にとり、児童の様子の変化や行動に気を配れている。 ・代表者会議において、「児童虐待の理解とその対応」の講演会を開き、委員の意識向上が図れた。県中央こども家庭センターの事業を利用し、困難なケースについて佐伯関西福祉大学教授にアドバイスをいただくことができた。 ・就学前教育・保育に関する基本計画策定委員会で検討してきた内容を、子ども・子育て会議に引き継ぎ協議を継続している。保護者へのニーズ調査を行い、計画に反映で 	<p>(子育てふれあいセンター事業)</p> <p>(児童館事業)</p> <p>(学童保育事業)</p> <p>(要保護児童対策事業)</p> <p>(要保護児童対策事業)</p>
今後の 課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・センターに通うことを躊躇していたり、子育てに不安を持っている方に対し、悩みを話したり、センターに来れば母親同士のつながりを持てるることをよりPRする必要がある。 ・平成27年4月の新制度「子ども・子育て支援事業計画」が始まり、民間3園の認定こども園(幼保連携型)オープン後の運営助成のあり方を考える必要がある。 ・子ども・子育てのあり方や少子化対策について、町全体として考えていく必要がある。 ・要保護児童、発達障害児いずれの取り組みについても、健康福祉課(保健師)との役割分担について調整が必要で、今後、学校も含め情報がスムーズに繋がるよう特に就学前の情報交換会が必要である。 ・高学年の学童保育を今後どのようにしていくか。中区内で中町幼稚園が閉園になり、認定こども園(幼保連携型)が3園できた後の幼稚園教育をどのようにしていくか、また、町全体の保育料の見直し、通園バスのあり方など検討課題は多い。 	<p>(子育てふれあいセンター事業)</p> <p>(保育所運営助成事業)</p> <p>(次世代育成支援対策推進事業)</p> <p>(要保護児童対策事業)</p> <p>(子ども・子育て支援事業計画策定事業)</p>
講 評	<p>III - 1 一生懸命取り組んでいる。現状のまま継続されたい。</p> <p>III - 2 新制度に合わせて、内容を見直しながら継続されたい。</p> <p>III - 3 利用者数がよく増えているのはいいことである。多可町一本化に向け、統合を検討されたい。</p> <p>III - 4 事業を安全に充実させることが大事である。</p> <p>III - 5 現状のまま継続されたい。</p> <p>III - 6 教育委員会だけでは対応しきれない時がある。各集落の子ども会・民生委員・区長等との連携も必要なのは。広く対応できるように担当の人的配置を考える必要がある。</p> <p>III - 7 子どもが減った時の対応は大事である。内容を見直しながら継続されたい。</p> <p>III - 8 大きな変革点である。重点的に継続されたい。</p>	

平成25年度多可町教育委員会事務事業評価票

施策を構成する事務事業の状況

事務事業名	評価委員意見	担当課・所管
III-1 子育てふれあいセンター事業	妥当である	こども未来課
III-2 保育所運営助成事業	妥当である	こども未来課
III-3 児童館事業	妥当である	こども未来課
III-4 学童保育事業	妥当である	こども未来課
III-5 預かり保育事業	妥当である	こども未来課
III-6 要保護児童対策事業	妥当である	こども未来課
III-7 次世代育成支援対策推進事業	妥当である	こども未来課
III-8 子ども・子育て支援事業計画策定事業	妥当である	こども未来課

(注)評価委員の意見は教育委員会の自己評価に対する意見である。

多可町教育委員会事務事業評価シート(平成25年度)

(A面)

担当課

こども未来課

1 事務事業の概要					
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度	
子育てふれあいセンター事業		<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 継続	年度 ○ H20以前	年度 ○ 未定	
事務事業の体系					
計画 掲載	多可町総合計画	○政策 □施策	のびのび育とう、育てよう 子育て世代への支援を推進する		
	個別計画				
根拠法令・条例・要綱等					
多可町子育てふれあいセンター事業実施要綱					
事務事業の具体的な内容					
多可町子育てふれあいセンターの施設管理、行政側からの運営支援を行う				委託	
				<input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 委託なし(全部直営)	<input type="checkbox"/> 一部委託
2 事務事業の目的					
対象 (働きかける相手・誰が・もの)		どのような手段で		意図 (どういう状態にしたいのか)	
町内の未就園児とその親		広報、おたより、テレビなどの情報発信媒体		家庭や地域の教育力を高め、心身ともに健全な子どもの育成を図る	

3 取組の状況		自己評価 (達成度)				
事務事業を構成する業務	活動内容	活動指標(単位)	24年度	25年度	26年度目標	
1 子育てふれあいセンター業務	子育てふれあいセンター開館箇所数	箇所	3	3	3	3
2 ふれあい事業	土日交流会、異年齢交流、地域交流	回	52	75	75	3
3 おでかけ広場、学習・講座・座談会	町内の公民館や公会堂を利用した出前サロン、学習会・講座・座談会	回	19	21	25	3
4 子育てグループ育成業務	サークル活動相談、準備及び土日交流委員会実施回数	回	21	41	45	3
5 センター利用者数		人	14,839	14,211	14,500	3
6 事業参加人数		人	5,956	5,329	6,000	3

(具体的な取組内容)

4ヶ月、1歳6ヶ月、3歳児検診時に健診が終わった親子を対象におもちゃ作りを通してセンターのPRや母親同士の交流を促している。その他各区での交流や、地域交流、学校での命の授業などに取り組んでいる。パパクラブを実施し、父親にも子育ての楽しさを知っていただき、父親同士での交流を促している。

4 主な取組の成果

パパクラブについては、父親が子育てに参加する大切さや楽しさを知っていただき好評だった。地域交流ではさまざまな世代の方々と交流をとおして、幅広い人間関係を築くことができた。育児の悩みを整理しながら解消し、子育ての意識を高めることができた。

5 今後の課題

センターに通うことを躊躇している母親や、子育てに不安を持っている方に対し、悩みを言って聞いてもらえる場だという周知の徹底。センターにすれば母親同士の繋がりを持つることをPRしていきたい。

事務事業評価書

担当課長評価

未就園児への支援については、子育てふれあいセンターが中心となって取り組んでおり、内容も充実してきているが、まだまだ保育園や幼稚園や子育てふれあいセンターのどこにも関わっておられない家庭もあり、たかテレビや広報だけでなくその他の掘り起こし手段も検討していく必要がある。

所管評価		1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続	<input checked="" type="radio"/>	3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

1次評価(教育長評価)

より多くの人々に利用していただけるよう、子育てふれあいセンターの活動を啓発し、現状のまま継続していくことが必要。

1次評価		1. 重点的に継続	<input checked="" type="radio"/>	2. 現状のまま継続		3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

2次評価(評価委員評価)

一生懸命取り組んでいる。現状のまま継続されたい。

2次評価		1. 重点的に継続	<input checked="" type="radio"/>	2. 現状のまま継続		3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

多可町教育委員会事務事業評価シート(平成25年度)

(A面)

				担当課		
				こども未来課		
1 事務事業の概要				新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
事務事業名 保育所運営助成事業				<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続	年度 H20以前	年度 未定
事務事業の体系						
計画 掲載	多可町総合計画	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 施策	のびのび育とう、育てよう 子育て世代への支援を推進する			
	個別計画	多可町次世代育成支援対策推進行動計画				
根拠法令・条例・要綱等 児童福祉法、同施行令、同施行規則、多可町保育所条例、多可町保育の実施に関する条例、同施行規則						
事務事業の具体的な内容						
保育所事務全般と中区民間保育所への保育所運営費及び補助金等事務				委託	全部委託 委託なし(全部直営)	<input checked="" type="checkbox"/> 一部委託
2 事務事業の目的						
対象(働きかける相手・誰が・もの) 入所児童と民間保育所		どのような手段で 入所児童と民間保育所		意図(どういう状態にしたいのか) 保育士の資質向上と通園バスの安全な運行及び民間保育所の安定した運営と保育環境の維持改善		
3 取組の状況						
事務事業を構成する業務	活動内容	活動指標(単位)	24年度	25年度	26年度目標	自己評価(達成度)
1 保育所運営等補助金支出業務(扶助費除く)	民間保育所の適正な運営や保育環境を維持するために補助や助成を行う	年間支払額(千円)	38,455	42348	53345	3
2 民間保育所延べ入所者数		人	2487	2637	2580	3
3 病後児保育実施施設数		施設	1	1	1	3
4						
5						
(具体的な取組内容) 民間保育所の適正な運営や保育環境を維持するために補助や助成を行う。 保育所運営助成、延長保育事業、一時預かり事業、病後児保育事業、障害児保育事業、保育士等処遇改善臨時特例事業。						
4 主な取組の成果						
民間保育所へ補助や助成を行うことで、保育所の適正な運営や保育環境を維持することができた。就学前児童に対する教育・保育の質の向上を図ることができた。						
5 今後の課題						
平成27年4月の新制度スタート、民間3園の認定こども園(幼保連携型)オープンの後、運営助成のあり方を考えていく必要がある。						

事務事業評価書

担当課長評価

平成27年度4月の子ども子育て新制度にあわせ、民間保育園が認定こども園としてスタートする。新しい給付制度もはじまり、今一度補助金の助成内容を見直していく必要がある。

所管評価		1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続	<input checked="" type="radio"/>	3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

1次評価(教育長評価)

新制度がスタートするに当たり、助成内容も見直しながら継続していくことが必要。

1次評価		1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続	<input checked="" type="radio"/>	3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

2次評価(評価委員評価)

新制度に合わせて、内容を見直しながら継続されたい。

2次評価		1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続	<input checked="" type="radio"/>	3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

多可町教育委員会事務事業評価シート(平成25年度)

(A面)

担当課

こども未来課

1 事務事業の概要

事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
児童館事業		<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続	年度 <input type="checkbox"/> H20以前	年度 <input type="checkbox"/> 未定
事務事業の体系				
計画 掲載	多可町総合計画 個別計画	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 施策	のびのび育とう、育てよう 子育て世代への支援を推進する 多可町次世代育成支援対策推進行動計画	
根拠法令・条例・要綱等				
多可町児童館条例 多可町児童館条例施行規則				
事務事業の具体的な内容				
児童館の施設管理、小学生向けの体験プログラムの計画・実施、中学生・高校生ボランティアとの連携		委託 <input type="checkbox"/>	全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 委託なし(全部直営)	一部委託

2 事務事業の目的

対象(働きかける相手・誰が・もの)	どのような手段で	意図(どういう状態にしたいのか)
町内の0~18歳以下の児童	館内利用、体験プログラム等の実施	利用する児童に健全なあそび場を与えて、健康を増進し、情操を豊かにさせる

3 取組の状況

事務事業を構成する業務	活動内容	活動指標(単位)	24年度	25年度	26年度目標	自己評価(達成度)
1 児童館開放業務	児童館の開放	日	244	244	244	4
2 各月講座開催業務	各月講座開催回数(4講座)	回	66	66	66	3
3 体験イベント開催業務	体験イベントの開催回数	回	57	132	140	3
4 児童館だより発行業務	児童館だよりの発行	回	12	12	12	5
5 児童館利用者数		人	5987	7161	7200	3

(具体的取組内容)

わくわく体験教室では地域の特性を活かしつつ、季節の行事を取り入れながら物作りや調理、コミバスで町外へ行って公共交通のルールなどを学んでいる。児童館の無い八千代区では子ども教室として八千代プラザ等で工作などを実施し児童館のPRをしている。その他さまざまなイベントを実施して児童館PRしている。

4 主な取組の成果

土曜日が開放になり、児童の利用時間が増え、自由来館が増加した。さまざまな体験を取り入れ、参加人数も徐々に増えている。

5 今後の課題

児童館がどういう所か、どんな遊やイベントをしているのか、まだ周知徹底されていない。どうすれば児童館へ遊びにきてくれるのか、児童の関心のあるイベント等を考えいかなければならない。

事務事業評価書

担当課長評価

事業仕分けを受け、子ども企画型の事業を実施し、児童館の新しい方向性を見いたした点が評価できる。今後は日曜日の開館など利用者増に向けた取り組みが必要である。

所管評価	1. 重点的に継続	2. 現状のまま継続	3. 内容を見直しながら継続	4. 縮小を検討
	○ 5. 統合・連携を検討	6. 休止・廃止を検討	7. 終了・完了	

1次評価(教育長評価)

いずれは、2つの児童館を1つにし、子ども未来課の社会教育事業を児童館へ移行。日曜日の開館を検討する必要がある。

1次評価	1. 重点的に継続	2. 現状のまま継続	3. 内容を見直しながら継続	4. 縮小を検討
	○ 5. 統合・連携を検討	6. 休止・廃止を検討	7. 終了・完了	

2次評価(評価委員評価)

利用者数がよく増えているのはいいことである。多可町一本化に向け、統合を検討されたい。

2次評価	1. 重点的に継続	2. 現状のまま継続	3. 内容を見直しながら継続	4. 縮小を検討
	○ 5. 統合・連携を検討	6. 休止・廃止を検討	7. 終了・完了	

多可町教育委員会事務事業評価シート(平成25年度)

(A面)

担当課

こども未来課

1 事務事業の概要

事務事業名	新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
学童保育事業	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 継続	年度 ○ H20以前	年度 ○ 未定

事務事業の体系

計画 掲載	多可町総合計画 個別計画	○政策	のびのび育とう、育てよう
		□施策	子育て世代への支援を推進する 多可町次世代育成支援対策推進行動計画

根拠法令・条例・要綱等

多可町学童保育事業実施要綱

事務事業の具体的内容

働く親を持つ子ども達が家庭の代わりに、児童に遊び及び生活の場を与えて健全な育成を図る

委託	全部委託 <input type="radio"/>	一部委託 <input checked="" type="radio"/>
	○ 委託なし(全部直営)	

2 事務事業の目的

対象(働きかける相手・誰が・もの)	どのような手段で	意図(どういう状態にしたいのか)
町内の小学校に就学する1年生から3年生までの児童で、保護者等が就労等により、屋間において留守になる世帯	学童保育を利用する世帯	授業の終了後に、適切な遊び及び生活の場を通じて児童の健全育成を図る。

3 取組の状況

事務事業を構成する業務	活動内容	活動指標(単位)	23年度	25年度	26年度目標	自己評価(達成度)
1 学童保育業務	設置個所数	箇所	5	5	5	3
2 学童保育業務	開所日数	日	291	291	291	3
3 指導員に係る業務	指導員人数(体制)	人	20	22	22	3
4 利用人数		人・月	1983	1948	1950	3
5						

(具体的取組内容)

授業終了後、長期休暇に保護者が就労等により保育できない家庭の児童に遊びや生活習慣、集団行動の大切さを学ばせ、安全に楽しく過ごせるようにしている。

4 主な取組の成果

児童が安全に生活できるように心がけている。指導員同士の連携を密に取り、児童の様子の変化や行動に気を配れている。

5 今後の課題

長期利用の児童が増え、指導員の数が足りない状況。指導員の人数確保を広報やたかTVなどで募集し、人數確保に努める。児童の安全管理の徹底をする。

事務事業評価書

担当課長評価

現在は3年生までの学童保育だが、対象を6年生まで広げることについても検討を進めていく必要がある。

所管評価		1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続	<input type="radio"/>	3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

1次評価(教育長評価)

ニーズや現場の状況等確認しながら、受け入れ学年の拡大も検討していく必要がある。

1次評価		1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続	<input type="radio"/>	3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

2次評価(評価委員評価)

事業を安全に充実させることが大事である。

2次評価		1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続	<input type="radio"/>	3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

多可町教育委員会事務事業評価シート(平成25年度)

(A面)

1 事務事業の概要

事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度	担当課				
中町幼稚園預かり保育事業		新規 <input type="radio"/>	年度 <input type="radio"/> H20以前	年度 <input type="radio"/>	こども未来課				
未定									
計画 掲載	多可町総合計画 個別計画	○政策	のびのび育とう、育てよう 子育て世代への支援を推進する						
		□施策	多可町次世代育成支援対策推進行動計画						
根拠法令・条例・要綱等									
多可町預かり保育事業実施要綱 多可町預かり保育指導員等配置要綱									
事務事業の具体的内容									
・通常預かり保育		・一時預かり保育	委託	全部委託 <input type="checkbox"/>	一部委託 <input type="checkbox"/>				
				委託なし(全部直営) <input type="checkbox"/>					

2 事務事業の目的

対象(働きかける相手・誰が・もの)	どのような手段で	意図(どういう状態にしたいのか)
中町幼稚園児(留守家庭園児)	放課後保育	家庭で保護者の保護が受けられない園児の心身の健全な発達を図る。

3 取組の状況

事務事業を構成する業務	活動内容	活動指標(単位)	24年度	25年度	26年度目標	自己評価(達成度)
1 預かり保育業務	設置個所数	箇所	1	1	1	3
2 預かり保育業務	開所日数	日	291	291	291	3
3 指導員に係る業務	指導員人数(体制)	人	4	4	4	3
4 利用人数		人	514	419	420	3
5						

(具体的取組内容)

幼稚園終了後、就労等で保育できない保護者の児童に遊びや生活習慣等、心身の健全な発達を図っている。

4 主な取組の成果

児童が安全に遊べるように徹底した。幼稚園と連携し、楽しく過ごせるような環境づくりを心掛けた

5 今後の課題

前年と同様に安全に、楽しく過ごせるような環境づくりを心掛ける。

事務事業評価書

担当課長評価

中町幼稚園の預かり保育時間は現在は8:00～19:00であるが、加美区、八千代区にあわせて7:30～19:00に変更した方が良い。ただ、中町幼稚園は平成26年度で閉園する予定であるので、学童保育でも保育時間の検討が必要である。

所管評価	1. 重点的に継続	2. 現状のまま継続	<input checked="" type="radio"/>	3. 内容を見直しながら継続	4. 縮小を検討
	5. 統合・連携を検討	6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了	

1次評価(教育長評価)

閉園するまでは現状のまま継続することが必要である。

1次評価	1. 重点的に継続	<input checked="" type="radio"/>	2. 現状のまま継続		3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
	5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

2次評価(評価委員評価)

現状のまま継続されたい。

2次評価	1. 重点的に継続	<input checked="" type="radio"/>	2. 現状のまま継続		3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
	5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

多可町教育委員会事務事業評価シート(平成25年度)

(A面)

担当課

こども未来課

1 事務事業の概要			
事務事業名		新規・継続	事業開始年度
要保護児童対策事業		新規 ○ 継続 ○	年度 H20以前 ○
事務事業の体系			
計画 掲載	多可町総合計画	○政策 □施策	のびのび育とう、育てよう 子育て世代への支援を推進する
	個別計画	多可町次世代育成支援対策推進行動計画	
根拠法令・条例・要綱等			
児童福祉法(第25条の2)、多可町要保護児童対策地域協議会設置要綱、多可町要保護児童対策地域協議会運営規約、多可町子育て家庭ショートステイ事業実施要綱、多可町養育支援訪問事業実施要綱			
事務事業の具体的な内容			
多可町要保護児童対策地域協議会において、要保護児童等とその保護者に関する情報その他適切な保護を図るために必要な情報交換と要保護児童等に対する支援の内容に関する協議を行う。		委託	全部委託 ○一部委託 委託なし(全部直営)

2 事務事業の目的			
対象(働きかける相手・誰が・もの)	どのような手段で	意図(どういう状態にしたいのか)	
行政、地域住民、協議会関係機関	要保護児童及び発達障害児等とその保護者	一時保護やショートステイ、学校園や地域での見守り、医療機関への調整、サービス等の導入により、児童等を保護につなげる。	

3 取組の状況						
事務事業を構成する業務	活動内容	活動指標(単位)	24年度	25年度	26年度目標	自己評価(達成度)
1 代表者会議	多可町児童虐待対応マニュアルに基づき事業を実施する。	代表者会議の開催回数	1	1	1	3
2 実務者会議	各種会議の開催や学校園への訪問により、要保護児童・発達障がい児等の把握と情報交換を行う。	実務者会議の開催回数	4	4	4	3
3 個別ケース検討会議	養育支援訪問事業の活用。 サポートファイルの活用により発達障がい児を支援する。	個別ケース検討会議の開催回数	12	5	6	3
4 児童虐待防止／発達		訪問学校(園)数	16	16	16	3
5 発達支援連絡会議		発達支援連絡会議の開催回数	5	6	5	3
6 虐待通告(相談)件数		件	9	4	3	3
(具体的な取組内容)						

4 主な取組の成果

1 代表者会議において、「児童虐待の理解とその対応」と題して甲南女子大学教授稻垣由子氏に講演していただき、要保護児童対策地域協議会委員の意識の向上が図れた。

5 発達支援連絡会議ケース運営部会では、これも県中央こども家庭センターの事業を利用(講師謝金は県が負担)して、困難ケースについて関西福祉大学教授佐伯文昭氏にアドバイスをいただくことができた。

5 今後の課題

要保護児童、発達障害児いずれの取組についても、健康福祉課(保健師)との情報共有と連携が重要で、そのことが難しいと感じることがある。

発達障害児については、サポートファイルの作成も含め学校とのつながりが必要であるので、学校教育ラインの協力を得て的確でスムーズな取組を行っていきたい。(コーディネーター会議の活用など)

事務事業評価書

担当課長評価

児童虐待、特別支援の分野とも需要が多くなり、ますます関係機関との連携も大切になってくる。重篤度を勘案しながら、スピード感をもって対応していく必要がある。

所管評価	1. 重点的に継続	2. 現状のまま継続	<input checked="" type="radio"/>	3. 内容を見直しながら継続	4. 縮小を検討
	5. 統合・連携を検討	6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了	

1次評価(教育長評価)

関係機関と連携し、内容を見直しながら継続することが必要である。

1次評価	1. 重点的に継続	2. 現状のまま継続	<input checked="" type="radio"/>	3. 内容を見直しながら継続	4. 縮小を検討
	5. 統合・連携を検討	6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了	

2次評価(評価委員評価)

教育委員会だけでは対応しきれない時がある。各集落の子ども会・民生委員・区長等との連携も必要なのは。

広く対応できるように担当の人的配置を考える必要がある。

2次評価	1. 重点的に継続	2. 現状のまま継続	<input checked="" type="radio"/>	3. 内容を見直しながら継続	4. 縮小を検討
	5. 統合・連携を検討	6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了	

多可町教育委員会事務事業評価シート(平成25年度)

(A面)

1 事務事業の概要		担当課 こども未来課			
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度	
次世代育成支援対策推進事業		<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続	年度 <input type="checkbox"/> H20以前	年度 <input type="checkbox"/> 未定	年度 <input type="checkbox"/> 未定
事務事業の体系					
計画 掲載	多可町総合計画	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 施策	のびのび育とう、育てよう 子育て世代への支援を推進する		
	個別計画	多可町次世代育成支援対策推進行動計画			
根拠法令・条例・要綱等					
次世代育成支援対策推進法(第8条)、多可町少子化対策推進本部設置要綱、次世代育成ネットワーク会議設置要綱					
事務事業の具体的な内容					
次世代育成ネットワーク会議および多可町少子化対策推進本部会議等を開催し、次世代法に基づく後期行動計画に掲げる事業の推進を図る		委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託なし(全部直営)			
2 事務事業の目的					
対象(働きかける相手・誰が・もの)		どのような手段で	意図(どういう状態にしたいのか)		
多可町及び町民		町民	次世代育成ネットワーク会議、少子化対策推進本部会議等で次世代育成(子育て)支援事業の検証、見直しを行い、多可町の少子化の進行を抑制する。		
3 取組の状況					
事務事業を構成する業務	活動内容	活動指標(単位)	24年度	25年度	26年度目標
1 少子化対策推進本部会議及び幹事会の開催	行動計画を全庁的に推進する	開催回数	4	4	4
2 次世代育成ネットワーク会議の開催	事業の進行管理	開催回数	2	2	2
3					
4					
5					
(具体的な取組内容)					
4 主な取組の成果					
少子化対策推進本部幹事会、少子化対策推進本部会議、次世代育成ネットワーク会議を2回ずつ開催し、次世代育成支援対策推進行動計画の推進状況の確認や、多可町の少子化対策について協議した。					
5 今後の課題					
26年度で次世代育成支援対策推進行動計画が期間満了となり、平成27年度からは5年間の「子ども・子育て支援事業計画」がスタートする予定。子ども・子育てのあり方や少子化対策について、町全体として考えていく必要がある。					

事務事業評価書

担当課長評価

次世代育成支援対策事業は子ども子育て支援計画事業への移行も視野に入れながらその内容を検討していく必要がある。また、次世代育成支援対策の取組がまだまだ町民に知られていないので、その効果的な周知について検討を要する。

所管評価		1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続	<input checked="" type="radio"/>	3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

1次評価(教育長評価)

子ども子育て支援計画事業への移行を視野に入れ、内容を見直しながら継続していくことが必要である。

1次評価		1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続	<input checked="" type="radio"/>	3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

2次評価(評価委員評価)

子どもが減ったときの対応は大事である。内容を見直しながら継続されたい。

2次評価		1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続	<input checked="" type="radio"/>	3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

多可町教育委員会事務事業評価シート(平成25年度)

(A面)

1 事務事業の概要		担当課	
事務事業名		こども未来課	
子ども・子育て支援事業計画策定事業		新規・継続	事業開始年度
		<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 継続	25 年度 H20以前
			26 年度 未定
事務事業の体系			
計画 掲載	多可町総合計画 個別計画	○政策	のびのび育とう、育てよう
		□施策	子育て世代への支援を推進する 子ども・子育て支援事業計画
根拠法令・条例・要綱等			
子ども・子育て関連三法			
事務事業の具体的な内容			
子ども・子育て会議を開催し、子ども・子育て支援事業計画を策定する。		委託	全部委託 <input checked="" type="radio"/> 一部委託 委託なし(全部直営)

2 事務事業の目的		
対象 (働きかける相手・誰が・もの)	どのような手段で	意図 (どういう状態にしたいのか)
児童の保護者を対象にニーズ調査を実施し、	子ども・子育て会議の協議を経て	子ども・子育てを支援する

3 取組の状況						
事務事業を構成する業務	活動内容	活動指標(単位)	24年度	25年度	26年度目標	自己評価(達成度)
1 子ども・子育て会議	委員を委嘱し、会議開催	会議開催回数		3	3	3
2 ニーズ調査	保護者のニーズ調査	実施回数		1		3
3						
4						
5						
(具体的取組内容)						
子ども・子育て会議を開催し、子ども・子育て支援事業計画(H27～H31)を策定する。						

4 主な取組の成果	
就学前教育・保育に関する基本計画策定委員会で検討してきた内容を、子ども・子育て会議に引き継ぎ協議を続けている。保護者へのニーズ調査を行い、計画に反映することができた。	

5 今後の課題	
高学年の学童保育を今後どのようにしていくか、また中区内で中町幼稚園がなくなり認定こども園(幼保連携型)が3園できた後の幼稚園教育をどのようにしていくか、さらには町全体の保育料の見直し、通園バスのあり方など、検討課題は多い。	

事務事業評価書

担当課長評価

中町幼稚園の閉園や中区の民間3園の幼保連携型認定こども園化も決定し、ますます子ども子育て支援についての会議の重要性が叫ばれる中で、就学前教育保育基本計画策定委員会を子ども子育て会議に円滑に移行することができた。

所管評価	<input type="radio"/>	1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続	<input checked="" type="radio"/>	3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

1次評価(教育長評価)

多可町のこれから就学前教育・保育のあり方を考え、制度化していく上で大変重要な事業となるので、重点的に継続していく必要がある。

1次評価	<input checked="" type="radio"/>	1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続		3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

2次評価(評価委員評価)

大きな変革点である。重点的に継続されたい。

2次評価	<input checked="" type="radio"/>	1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続		3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

平成25年度多可町教育委員会事務事業評価票

こころ豊かで(優しさと思いやり)、かしこい・そして心身ともにたくましい人づくり		
施 策 名	学びあい、支えあう「協働」の環境づくり	
所 管	教育委員会 こども未来課・教育総務課	備 考
施策目標 (目指すべき 状 態)	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな課題に対して行う社会教育の必要性は非常に高く、住民ニーズも高い。また、町づくりや人づくりにもつながる重要な教育である。職員数減少や財政面への配慮をしながら、社会教育事業を効率よく推進していくために、事業の統合連携や事務の効率化を図るとともに地域住民が主体的に参画できる仕組みが望まれる。 ・青少年育成センター所長に警察OBを採用されセンター機能体制が充実する中、子どもが安心して育つ環境づくりや安心して暮らせるよう、防犯・安全教育の徹底とともに、地域住民との連携の向上に努める。また、ネットや携帯電話による青少年のトラブルや犯罪被害を未然に防ぐように早期発見、早期解消するための監視活動が出来る仕組みが望まれる。 	(社会教育) (青少年育成センター)
施 策 を 取 り巻く 環 境	<ul style="list-style-type: none"> ・近年の少子高齢化や核家族化、情報化などの問題は、多可町においても例外ではなく、子どもたちの成長にとってマイナスの面も出てきている。また、学校教育の担う役割の多様化や、共働き家庭の増加による子育てへの負担の増大、さらにそれを側面から支援するべき地域コミュニティーが十分に機能していない現状がある。社会教育による学校、家庭、地域の連携協力体制の充実が喫緊の課題となっている。 ・子どもが被害者となる誘拐事件や連れ去り事件、いたずら等が各地で発生している。また、声かけ、つきまとい、チカン等の子どもを対象にした事案も多く発生しており、学校施設内及び登下校時の安全確保は地域の緊急課題となっている。 	(社会教育) (青少年育成センター)
施 策 の 達 成 状 況	<ul style="list-style-type: none"> ・実践発表では学校とPTAが連携し、伝統を継承する取組を継続している様子が発表できた。講演では子育てをする親だけでなく地域の大人も積極的に参加する姿勢に多くの方が感動することができた。 ・出石永楽館の公演ではまちの伝統を継承するうえで、新たな取り組みができ、アンケートからも肯定的な評価を得られた。 ・講師や各学校等の協力も得ながら円滑に実施できた。参加児童生徒や保護者からも一定の評価が聞かれた。 ・なつチャレでは多くのプログラムを提供し、非常に多くの応募があった。 ・青少年の健全育成のため、各子ども会、婦人会、警察署のほか、関係機関との連絡調整を図り、町長部局と教育委員会部局、警察等との連携が進んだ。 ・年間を通じて、安全教育や見守り、安全パトロール員による学校園施設内や周辺及び通学路公園等のパトロールを実施し、犯罪の抑止効果が図れている。 	(PTCA事業) (芸能フェスタ事業) (社会教育推進事業) (青少年育成センター) (青少年健全育成事業)
今後の 課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・さらにたくさんの保護者や地域住民が参加しやすい体制整備が必要である。 ・伝統芸能を継承していくことを基本しながら、町内住民に積極的なPRを行う必要がある。平成26年度は中央公民館播州歌舞伎クラブ設立20周年を迎える。町内で公演を予定している。より多くの町民が訪れ、町ぐるみで盛り上げていくことが必要である。 ・社会教育委員会は地域課題を設定したより活発な協議の場としたい。 ・放課後子ども広場事業の見守りボランティアの確保が課題である。 ・なつチャレは非常に子ども達や保護者からの期待が大きい事業であるだけに、次年度以降の児童館移管に向けた準備を十分に行っておく必要がある。 ・子どもが安心して暮らすことができる環境をつくるため、地域ぐるみでの挨拶運動の展開や見守り体制を確立し、警察との連携を強化し、犯罪発生の抑止力を高める必要がある。 	(PTCA事業) (芸能フェスタ事業) (社会教育) (青少年育成センター・青少年健全育成事業)
講 評	<p>IV- 1 現状のまま継続されたい。</p> <p>IV- 2 多可町内の学校からカブキッズに参加があるのは全町的に広がりができ、大変いいことである。</p> <p>IV- 3 夏チャレは児童館へ統合が必要だが、内容を見直しながら継続されたい。</p> <p>IV- 4 内容を見直しながら継続されたい。</p> <p>IV- 5 各学校の見守りの人も大変お世話になっている。現状のまま継続されたい。</p> <p>IV- 6 とても利用者は多いが、施設が老朽化しすぎている。</p>	

平成25年度多可町教育委員会事務事業評価票

施策を構成する事務事業の状況

事務事業名	評価委員意見	担当課・所管
IV-1 PTCA事業	妥当である	こども未来課
IV-2 芸能フェスタ事業	妥当である	こども未来課
IV-3 社会教育推進事業	妥当である	こども未来課
IV-4 青少年育成センター事業	妥当である	こども未来課
IV-5 青少年健全育成事業	妥当である	こども未来課
IV-6 中央公民館管理運営事業	妥当である	教育総務課

(注)評価委員の意見は教育委員会の自己評価に対する意見である。

多可町教育委員会事務事業評価シート(平成25年度)

(A面)

				担当課			
				こども未来課			
事務事業の概要		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度			
事務事業名 PTCA事業		<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続	年度 <input type="checkbox"/> H20以前	年度 <input type="checkbox"/> 未定			
事務事業の体系							
計画 掲載	多可町総合計画 個別計画	<input type="checkbox"/> 政策					
		<input type="checkbox"/> 施策					
根拠法令・条例・要綱等							
事務事業の具体的な内容							
PTCA子育てフォーラムの開催		<input type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託なし(全部直営)				
2 事務事業の目的							
対象(働きかける相手・誰が・もの)		どのような手段で	意図(どういう状態にしたいのか)				
町民		PTA会員を対象に子育て フォーラムを開催する	PTAを中心とした地域住民の参画と協働によって家庭の教育力の向上を図るとともに、地域が支える地域の学校づくりの充実や地域による子どもたちの安全・安心を守る。				
3 取組の状況							
事務事業を構成する業務		活動内容	活動指標(単位)	24年度	25年度	26年度目標	自己評価(達成度)
1	PTCA子育てフォーラムの開催	町民を対象としたフォーラムの開催	PTCA子育てフォーラムの開催(回)	1	1	1	3
2	観客		人	185	164	180	3
3							
4							
5							
(具体的な取組内容) アトラクション:中町中学校龍神太鼓 開会行事:多可町PTA協議会会長あいさつ 他 実践発表:「中町北小学校実践報告~伝統を守り育てる~」中町北小学校PTA 講演:「今を生きる子どもたちへ伝えたい。親として、大人として、地域として」 幼児教育専門家 熊丸みづ子氏							
4 主な取組の成果							
実践発表では、学校とPTAが連携し、伝統を継承する取り組みを継続している様子が発表された。大変な活動ではあるが、子ども達のために協働する大人の姿は、非常に参考になったとの感想が寄せられた。また、講演では、子育てをする親だけでなく地域の大人も積極的に参加する姿勢にも触れられ、多くの方から感動したとの感想が寄せられた。							
5 今後の課題							
今後、さらにたくさんの保護者や地域住民が参加しやすい体制整備が必要である。							

事務事業評価書

担当課長評価

PTCA子育てフォーラムはPTA活動の成果を発表する場、活動意欲を高める場として大きな成果をあげている取組だと考える。今後とも現状のまま継続して取り組んでいく。

所管評価	1. 重点的に継続	<input checked="" type="radio"/>	2. 現状のまま継続		3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
	5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

1次評価(教育長評価)

より多くの保護者が参加できる手法を検討し、現状のまま継続することが必要である。

1次評価	1. 重点的に継続	<input checked="" type="radio"/>	2. 現状のまま継続		3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
	5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

2次評価(評価委員評価)

現状のまま継続されたい。

2次評価	1. 重点的に継続	<input checked="" type="radio"/>	2. 現状のまま継続		3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
	5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

多可町教育委員会事務事業評価シート(平成25年度)

(A面)

担当課

こども未来課

1 事務事業の概要

事務事業名	新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
芸能フェスタ事業	新規 <input type="radio"/>	年度 <input type="radio"/>	年度 <input type="radio"/>
事務事業の体系			
計画 掲載	多可町総合計画 <input type="radio"/>	○政策 □施策	学ぼう、活かそう
個別計画			
根拠法令・条例・要綱等			
事務事業の具体的な内容			
芸能フェスタの開催	委託 <input type="radio"/>	全部委託 <input type="checkbox"/>	一部委託 <input type="checkbox"/>
		○ 委託なし(全部直営) <input type="checkbox"/>	

2 事務事業の目的

対象(働きかける相手・誰が・もの)	どのような手段で	意図(どういう状態にしたいのか)
市民	市民	郷土芸能発表会を開催し文化への関心を高める

3 取組の状況

事務事業を構成する業務	活動内容	活動指標(単位)	24年度	25年度	26年度目標	自己評価(達成度)
1 芸能フェスタの開催	関係団体に出演依頼	芸能フェスタの開催	1	1	1	4
2 観客		人	220	320	350	4
3						
4						
5						

(具体的な取組内容)

平成25年度は出石永楽館にて単独公演を行い、伝統芸能の継承とともに発表の場とした。また、たかTVや地域振興課との協力を図り、ネットワーク型行政としての取り組みも行った。

4 主な取組の成果

多可町からも大型バスや自家用車にておよそ150名の参加があった。町外から自らのまちの伝統を見つめることで、誇りやアイデンティティを感じることができたとの感想もアンケートから得られた。まちの伝統を継承する上で、新たな取り組みができ、アンケートからも肯定的な評価を得られたと考えている。

5 今後の課題

伝統芸能を継承していくことを基本としながらも、町内住民に積極的なPRを行っていかなければならない。平成26年度は中央公民館播州歌舞伎クラブ設立20周年を迎え、町内での公演を予定している。より多くの市民が訪れ、町ぐるみで盛り上げていく雰囲気を醸成させていく課題である。

事務事業評価書

担当課長評価

播州歌舞伎クラブの出石公演は多可町民だけでなく多可町が誇れる事業の一つとして町外の方々にも広くPRでき、大きな成果があったと考える。今後とも、町民が誇りと思えるような取組を進めていく必要がある。

所管評価		1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続	<input checked="" type="radio"/>	3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

1次評価(教育長評価)

より多くの町民が参加する手法を検討し、20周年を祝う催しにしたい。そして、播州歌舞伎の浸透を図っていきたい。

1次評価		1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続	<input checked="" type="radio"/>	3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

2次評価(評価委員評価)

多可町内の学校からカブキッズに参加があるのは全町的に広がりができ、大変いいことである。

2次評価		1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続	<input checked="" type="radio"/>	3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

多可町教育委員会事務事業評価シート(平成25年度)

(A面)

				担当課		
				こども未来課		
1 事務事業の概要				新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
事務事業名 社会教育推進事業				<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続	年度 <input type="checkbox"/> H20以前	年度 <input type="checkbox"/> 未定
事務事業の体系						
計画 掲載	多可町総合計画	<input type="checkbox"/> 政策				
	個別計画	<input type="checkbox"/> 施策				
根拠法令・条例・要綱等 社会教育法						
事務事業の具体的な内容						
社会教育委員会の開催、子ども向け講座・教室の実施、地域家庭教育推進施策の実施、人権教育施策の実施、教育通信の発行				委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 委託なし(全部直営)	一部委託	
2 事務事業の目的						
対象 (働きかける相手・誰が・もの) 委員、職員、町民	どのような手段で 事業の実施		意図 (どういう状態にしたいのか) 社会教育事業推進の諮詢、住民ニーズの把握、地域家庭教育の推進、人権教育の推進			
3 取組の状況						
事務事業を構成する業務	活動内容	活動指標(単位)	24年度	25年度	26年度目標	自己評価(達成度)
1 社会教育委員会	社会教育委員会の開催	回	4	4	4	3
2 子ども向け講座・教室(いきいき文化教室)	子ども向け講座・教室の実施	回	56	52	55	3
3 放課後子ども広場	放課後子ども広場の実施	回	285	280	280	3
4 人権教育施策(地域に学ぶ・ハートフル)	人権教育施策の実施	時間	136	137	135	3
5 教育通信の発行	教育通信の発行	回	4	5	4	3
6 青少年体験活動(なつチャレ)	青少年体験活動の実施	回	7	10	9	3
(具体的取組内容)						
1. 社会教育委員会: 社会教育事業の取り組みについて、多可町における伝統芸能の振興について 2・3・4. 子ども達の放課後や土曜日等の安心安全な活動の場づくりや人権学習 5. 学校や教育委員会の情報を地域住民に広報する。 6. 夏季休業を中心とした青少年体験活動(海釣り、キャンプ、化石発掘体験等)						
4 主な取組の成果						
1. 社会教育委員会では、事業について協議し、報告書をまとめた。 2・3・4. 講師や各学校等の協力も得ながら円滑に実施できた上に、参加児童生徒や保護者からも一定の肯定的評価が聞かれる。 5. 12月に特集号を発行し、「学校教育のあり方を考える会」の各区の意見書要旨を伝えた。 6. 多くのプログラムを提供し、非常に多くの応募があった。						
5 今後の課題						
1. 地域課題を設定した、より活発な協議の場としたい。 2・3・4. 放課後子ども広場事業の見守りボランティアの確保が課題である。また、人権学習においては、より工夫したプログラム内容とし、参加者の増加を図る必要がある。 5. タイムリーな情報を的確に、より多くの人に目を通してもらえるような紙面の工夫(視覚的・内容的) 6. 非常に子ども達や保護者からの期待が大きい事業であるだけに、次年度以降の児童館移管に向けた準備を十分に行っておく必要がある。						

事務事業評価書

担当課長評価

社会教育事業については、参加者の評価も高く成果があがっている。夏チャレ(夏休みの体験活動講座)等をはじめとした、募集型の事業については児童館へ移行していく予定であるが円滑に移行できるよう時間をかけて十分に検討していく必要がある。

所管評価		1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続	<input checked="" type="radio"/>	3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

1次評価(教育長評価)

夏チャレ等児童館事業への移行を検討することが必要である。

1次評価		1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続		3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
	<input checked="" type="radio"/>	5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

2次評価(評価委員評価)

夏チャレは児童館へ統合が必要だが、内容を見直しながら継続されたい。

2次評価		1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続	<input checked="" type="radio"/>	3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

多可町教育委員会事務事業評価シート(平成25年度)

(A面)

				担当課						
				こども未来課						
1 事務事業の概要		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度						
事務事業名 青少年育成センター事業		<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 継続	<input type="checkbox"/> 年度 <input checked="" type="radio"/> H20以前	<input type="checkbox"/> 年度 <input checked="" type="radio"/> 未定						
事務事業の体系										
計画 掲載	多可町総合計画	<input checked="" type="radio"/> 政策	のびのび育とう、育てよう							
	個別計画	<input type="checkbox"/> 施策	青少年の健全育成							
根拠法令・条例・要綱等 ・地方青少年問題協議会設置法 ・多可町青少年問題協議会条例 ・多可町青少年育成センター条例										
事務事業の具体的な内容										
青少年問題協議会、青少年育成センター運営協議会の開催			<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">委託</td> <td><input type="checkbox"/> 全部委託</td> <td><input type="checkbox"/> 一部委託</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="radio"/> 委託なし(全部直営)</td> <td></td> </tr> </table>			委託	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 一部委託	<input checked="" type="radio"/> 委託なし(全部直営)	
委託	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 一部委託								
	<input checked="" type="radio"/> 委託なし(全部直営)									
2 事務事業の目的										
対象 (働きかける相手・誰が・もの)	どのような手段で		意図 (どういう状態にしたいのか)							
各委員	会議の開催及び研修会		青少年の健全育成のため、各関係機関との連絡調整を図る。							
3 取組の状況										
事務事業を構成する業務	活動内容	活動指標(単位)	24年度	25年度	26年度目標					
1 青少年問題協議会	協議会の開催	回	2	2	2					
2 青少年育成センター運営協議会	協議会の開催	回	2	2	2					
3 青少年補導委員会 総会	総会の開催	回	1	1	1					
4										
5										
(具体的取組内容) 1 青少年問題協議会は町長が会長で、区長会、議会はじめ、主な関係機関の方々を委員として教育委員会の取組を提案し、共通理解を図っている。 2の青少年育成センター運営協議会では青少年育成センターの取組の評価する。 3の青少年補導委員会は定期的な補導活動を通して青少年の健全育成を図る。										
4 主な取組の成果 青少年の健全育成のため、各子ども会、婦人会、警察署の他、関係機関との連絡調整を図り、町長部局と教育委員会部局、警察等との連携が進んだ。 LINEやインターネットなどの危険性などを啓発することができた。										
5 今後の課題 子どもが安心して暮らすことができる環境をつくるため、地域ぐるみでの挨拶運動の展開や見守り体制を確立し、警察との連携を強化し、犯罪発生の抑止力を高める。 フィルタリングをしていなかったりLINEなどを通じて見ず知らずの人と会話をする機会があるなどSNSの危険性がますます高まっていくことに対する対応が課題である。										

事務事業評価書

担当課長評価

教育委員会だけの問題ではなく、町長部局とも連携しながらじめやSNSの運動に取り組んでいく必要がある。

所管評価	1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続	<input checked="" type="radio"/>	3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
	5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

1次評価(教育長評価)

あいさつ運動やSNSの運動など内容を見直しながら継続することが必要。

1次評価	1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続	<input checked="" type="radio"/>	3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
	5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

2次評価(評価委員評価)

内容を見直しながら継続されたい。

2次評価	1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続	<input checked="" type="radio"/>	3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
	5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

多可町教育委員会事務事業評価シート(平成25年度)

(A面)

1 事務事業の概要

担当課

こども未来課

事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
青少年健全育成事業		新規 <input type="radio"/>	年度 <input type="radio"/>	年度 <input type="radio"/>
事務事業の体系				
計画 掲載	多可町総合計画 個別計画	○政策 □施策	のびのび育とう、育てよう 子育て世代への支援を推進する	
根拠法令・条例・要綱等				
・多可町青少年補導委員会設置要綱				
事務事業の具体的な内容				
・見守り、安全巡回パトロール ・補導委員巡回パトロール及び万引防止活動 ・青少年健全育成大会				委託 全部委託 ○一部委託 委託なし(全部直営)

2 事務事業の目的

対象(働きかける相手・誰が・もの)	どのような手段で	意図(どういう状態にしたいのか)
園児・児童・生徒及び保護者等	巡回パトロール及び育成大会の開催等	園児・児童・生徒の安全確保を図り、青少年健全育成について広く周知し関心を図る。

3 取組の状況

事務事業を構成する業務		活動内容	活動指標(単位)	24年度	25年度	26年度目標	自己評価(達成度)
1	見守り・安全パトロール	学校園所等の安全パトロール	日数	240	241	240	4
2	補導委員巡回パトロール及び万引防止活動	補導パトロール及び店舗万引防止活動等	回	38	36	36	4
3	多可っ子悩み相談	青少年、保護者、教員等の悩み相談	回	163	133	140	4
4	青少年健全育成大会	育成大会の開催	回	1	1	1	4
5	青少年健全育成大会	参加人数	人	235	200	240	4

(具体的取組内容)

- ・シルバー人材センター委託による見守り安全パトロール(青バトによる週末を除く毎日巡回)
- ・補導委員による毎週土曜夜間・イベント・長期休暇中の量販店等の補導巡回活動
- ・青少年・保護者・教員を対象とした相談業務(随時)
- ・青少年健全育成大会の開催による啓発活動(1年1回)

4 主な取組の成果

・年間を通じて、安全教育や見守り、安全パトロール員による学校園施設内や周辺及び通学路公園等のパトロールを実施し犯罪の抑止効果が図れている。

5 今後の課題

・子どもが安心して暮らすことができる環境をつくるため、地域ぐるみでの挨拶運動の展開や見守り体制を確立し、警察との連携を強化し、犯罪発生の抑止力を高める。

事務事業評価書

担当課長評価

多可っ子悩み相談事業では、課題解決に向け大きな成果を上げている。
見守り・安全パトロール事業では、青パトでの毎日きめ細やかな巡回補導や青少年補導委員の補導活動の実施により、児童生徒の下校時の安全確保をはじめとして、非行予防に大きな成果を上げている。
青少年健全育成大会の実施時期が冬から夏に変わったことで学んだことがいかす機会も増えている。

所管評価	1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続	<input checked="" type="radio"/>	3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
	5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

1次評価(教育長評価)

現状のまま継続することが必要である。

1次評価	1. 重点的に継続	<input checked="" type="radio"/>	2. 現状のまま継続		3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
	5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

2次評価(評価委員評価)

各学校の見守りの人も大変お世話になっている。
現状のまま継続されたい。

2次評価	1. 重点的に継続	<input checked="" type="radio"/>	2. 現状のまま継続		3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
	5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		

多可町教育委員会事務事業評価シート(平成25年度)

(A面)

担当課

教育総務課

1 事務事業の概要

事務事業名	新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
中央公民館管理運営事業	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 継続	年度 <input type="radio"/> H20以前	年度 <input type="radio"/> 未定
事務事業の体系			
計画 掲載	多可町総合計画	<input checked="" type="radio"/> 政策 <input type="radio"/> 施策	笑顔でつつむ、あつたかいまち 学ぼう、活かそう
	個別計画		
根拠法令・条例・要綱等			
消防法・多可町公民館条例			
事務事業の具体的な内容			
消防設備、自家用電気工作物、自動ドア、空調設備、施設管理の業務委託		<input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託なし(全部直営)	

2 事務事業の目的

対象(働きかける相手・誰が・もの)	どのような手段で	意図(どういう状態にしたいのか)
中央公民館	各公民館を利用する町民	安全で適切な施設管理を図る

3 取組の状況

事務事業を構成する業務	活動内容	活動指標(単位)	24年度	25年度	26年度目標	自己評価(達成度)
1 自家用電気工作物管理委託	業者委託	委託回数(回)	13	13	13	3
2 消防施設点検委託	業者委託	委託回数(回)	2	2	2	3
3 防火対象物点検委託	業者委託	委託回数(回)	1	1	1	3
4 自動ドア保守点検委託	業者委託	委託回数(回)	4	4	4	3
5 施設管理委託	業者委託	委託回数(回)	359	359	359	3
6 年間利用者数		人	29690	28058	28000	3

(具体的な取組内容)

利用件数 (H24)1,743件→(H25)1,759件

4 主な取組の成果

消防法等法令に基づく点検・検査を実施し、効率的に維持管理を行った。年間利用者数も昨年よりは微減だが25000人を超えることなく、利用件数としては少し増えていることから、ほぼ目標は達成している。

5 今後の課題

もっと広くより多くの住民の方にサークル活動等で公民館を利用していただくため工夫が必要である。昭和48年の供用開始以来、約40年が経過し、施設の老朽化が問題である。今後の予定なども視野に入れ、対処する必要がある。

事務事業評価書

担当課長評価

中央公民館施設の利用拡大のために、施設清掃・管理を委託し、設備点検等も定期的に実施している。しかしながら、老朽化が著しく特に空調設備の故障が頻繁に起こっている。

建物は昭和48年に竣工し、平成9年には改造工事が実施されているが、15年が経過するエアコンや暖房設備など寿命が心配され、水回りは40年となることから、地域コミュニティーの中核施設としてなくてはならない施設として、計画的な改修シミュレーションの検討も必要と考えられる。

所管評価		1 重点的に継続		2 現状のまま継続	<input checked="" type="radio"/>	3 内容を見直しながら継続		4 縮小を検討
		5 統合・連携を検討		6 休止・廃止を検討		7 終了・完了		

1次評価(教育長評価)

施設の老朽化が進んでいるので、図書館などの複合化を図る生涯学習センター構想をどうするか早く検討することが必要である。

1次評価		1 重点的に継続		2 現状のまま継続		3 内容を見直しながら継続		4 縮小を検討
	<input checked="" type="radio"/>	5 統合・連携を検討		6 休止・廃止を検討		7 終了・完了		

2次評価(評価委員評価)

とても利用者は多いが、施設が老朽化しすぎている。

2次評価		1 重点的に継続		2 現状のまま継続		3 内容を見直しながら継続		4 縮小を検討
	<input checked="" type="radio"/>	5 統合・連携を検討		6 休止・廃止を検討		7 終了・完了		

平成25年度

多可町の教育の点検・評価

発行者 多可町教育委員会
〒679-1134 兵庫県多可郡多可町中区落利20
Tel 0795-32-2384 Fax 0795-32-4142

教育総務課 Tel0795-32-2384 E-mail kyoikusomu@town.taka.lg.jp
こども未来課 Tel0795-32-2385 E-mail kodomo@town.taka.lg.jp